



AD コンバータ  
**ADV-01**

---

取扱説明書 Ver.3.3.0

- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

**IDK Corporation**

## 商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または、登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。  
なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。

## この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図やメニュー項目などが、一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

[www.idk.co.jp](http://www.idk.co.jp)

### 同梱物の確認

以下の同梱物がすべてそろっているかご確認ください。

万一、同梱物に不備がありましたら、お手数ですが弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。

- |                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・ ADV-01 本体                | 1 台 |
| ・ ネジ式ロック付き AC アダプタ (1.5 m) | 1 個 |
| ・ 取扱説明書(本書)                | 1 冊 |

# 安全上のご注意

本書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- ・ この「安全上のご注意」は、弊社製品全般についての内容です。そのため、お客様がお持ちの製品には該当しない内容が含まれる場合があります。
- ・ 内容によっては、取扱説明書内で詳細に説明しているものもあります。



## 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



## 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号	図記号の意味	記号例
 注意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。 図の中や近くに絵や文章で具体的な注意内容を示します。	 高温面注意
 禁止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。 図の中や近くに絵や文章で具体的な禁止内容を示します。	 分解禁止
 指示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。 図の中や近くに絵や文章で具体的な指示内容を示します。	 プラグを抜く

## 警告

### 重い製品を持ち上げるときは

 指示	<p>●持ち上げるときは2人以上で作業する</p> <p>製品を持ち上げるとき、膝を伸ばしたまま腰を曲げて持ち上げる動作は、腰への負担が非常に強く危険です。片足を少し前に出して膝を曲げ、腰を十分に下ろしてから、身体を製品に近づけて身体全体で持ち上げるようにしてください。</p> <p>1人での持ち上げは負傷を招く原因になります。</p>
--------	---

### 設置・接続するときは

 禁止	<p>●不安定な場所に置かない</p> <p>水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。</p> <p>●振動のある場所に設置するときは固定する</p> <p>振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。</p>
--------	--



# 警告

 <b>指示</b>	<p>●<b>据付工事は技術・技能を有する専門業者が行う</b>          技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または弊社営業部までお問い合わせください。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。</p> <p>●<b>電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する</b>          万一の異常・故障のときや、長時間使用しないときなどに役立ちます。</p> <p>●<b>電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む</b>          差し込み方が悪いと、発熱により火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。</p> <p>●<b>機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜く</b>          機器をケーブルで接続するときは、長距離伝送接続なども含めて、関係するすべての機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、各機器の信号・制御ケーブルを接続し、各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。本体と他の機器との接地電位差により、火災・感電または機器の破損が発生する場合があります。</p> <p>●<b>必ずアースに接続する</b>          アース接続せずに使用すると、感電の原因になります。</p> <p>●<b>PoE・PoH 給電を使用するときは、IEEE802.3af/at 規格に適合したツイストペアケーブルを使用する</b>          規格に適合したケーブルで接続しないと、火災・故障の原因になります。</p>
--	--

## お使いのときは

 <b>禁止</b>	<p>●<b>異物をいれない</b>          通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。</p> <p>●<b>電源コード・AC アダプターは傷つけない</b></p> <p>●<b>PoE・PoH 給電を使用するときは、ツイストペアケーブルを傷つけない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加工したり、過熱したりしない</li> <li>・ 引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない</li> <li>・ 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない</li> </ul> <p>そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・AC アダプターが傷んだら、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 <b>分解禁止</b>	<p>●<b>修理・改造・分解はしない</b>          内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 <b>接触禁止</b>	<p>●<b>雷が鳴り出したら本体と、本体へ接続されたケーブル類には触れない</b>          感電の原因になります。</p>
 <b>指示</b>	<p>●<b>電源プラグのほこりやゴミは拭き取る</b>          電源プラグの絶縁低下により、火災の原因になります。</p>

## もしものときは

 <b>プラグを抜く</b>	<p>●<b>煙が出ている、異音、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</b></p> <p>●<b>落下などにより本体が破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</b></p> <p>●<b>内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</b></p> <p>そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因になります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
--	---



# 注意

## 設置・接続するときは

 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>温度の高い場所に置かない</b> 直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。</li> <li>● <b>ほこり・油煙・湿気が多い場所に置かない</b> ほこりの多い場所や、加湿器のそばに置くと、火災・感電の原因になります。</li> <li>● <b>通風孔をふさがない</b> 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。</li> <li>● <b>本体の上に重いものを置かない</b> 倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。</li> <li>● <b>コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない</b> タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。</li> </ul>
 <p>ぬれ手禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</b> 感電の原因になります。</li> </ul>
 <p>指示</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>温度と湿度の使用・保存範囲を守る</b> 範囲を超えて使用を続けた場合、火災・感電の原因になります。</li> <li>● <b>海拔 2,000 m 以上の場所に設置しない</b> 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。</li> <li>● <b>ラックへ設置するときは、上下に空冷のための隙間を空ける</b> EIA 相当のラックに設置してください。設置をするときは、上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。 また本体を平均的に支えるため、市販の L 型サポートアングルとラック取付金具との併用をお勧めします。</li> <li>● <b>ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入しない</b> ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入することは絶対にしないでください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は、付属のゴム足とねじ以外は使用しないでください。</li> </ul>

## お使いのときは

 <p>高温面注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>高温面に触れない</b> 十分な空間を確保せず設置すると、他の機器の動作不良の原因になります。 高温面に触れるとやけどの原因になります。</li> </ul>
 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>付属の電源コード・AC アダプター以外のものは使用しない</b></li> <li>● <b>付属の電源コード・AC アダプターは本製品専用のため、他の製品には使用しない</b> 不適合により、火災・感電の原因になります。</li> </ul>
 <p>プラグを抜く</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く</b> 万一故障したとき、火災の原因になります。</li> <li>● <b>お手入れのときは、電源プラグ・AC アダプターをコンセントから抜く</b> 感電の原因になります。</li> </ul>
 <p>指示</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>放熱を妨げない</b> 冷却用のファンを使って内部の熱を放出しています。 ファンが停止した場合は、電源を切り、弊社営業部までお問い合わせください。 ファンが停止した状態で使用を続けると、内部の温度が上昇し、故障・火災・感電の原因になります。</li> <li>● <b>定期的に清掃する</b> 通風孔や冷却用のファン付近にほこりが付着すると、内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。 また、長年のご使用で内部にほこりがたまると、火災・感電や故障の原因となることがありますので、定期的に内部の清掃を行うことをお勧めします。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、内部の清掃につきましては、弊社営業部までお問い合わせください。</li> </ul>

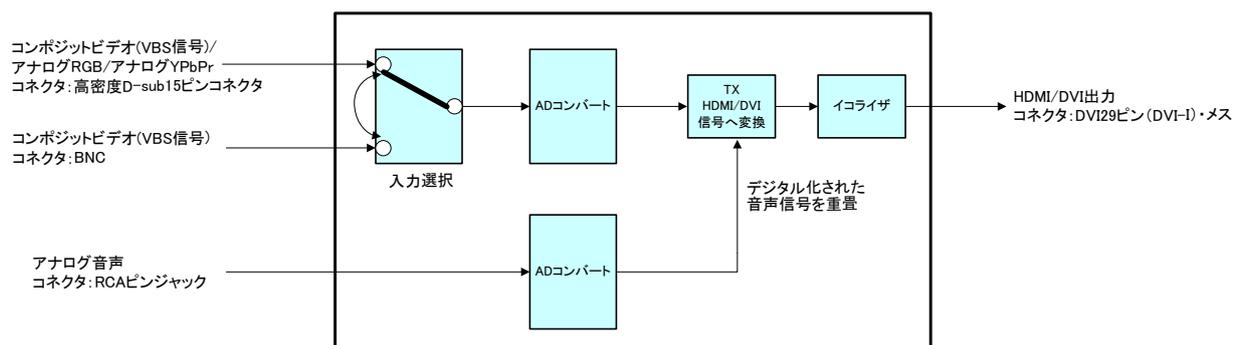
## 目次

1	製品概要	9
2	各部名称と働き	10
2.1	フロントパネル	10
2.2	リアパネル	11
3	基本操作	12
3.1	メニュー操作	12
3.2	キーロック設定/解除の操作	12
3.3	工場出荷時の設定に戻す	12
4	各種設定	13
4.1	メニュー一覧	13
4.2	入力信号の自動判別	16
4.3	画質設定	18
4.3.1	ブライトネス	18
4.3.2	コントラスト	19
4.3.3	色相 (HUE)	20
4.3.4	彩度 (SATURATION)	21
4.3.5	入力デフォルトカラー	22
4.4	入力設定	23
4.4.1	入力信号種別	23
4.4.2	入力信号優先度設定	24
4.4.3	入力信号毎設定の固定	24
4.5	入力タイミング設定	25
4.5.1	水平総ドット数	27
4.5.2	水平取り込み開始位置	28
4.5.3	水平 DE 開始位置	29
4.5.4	水平表示期間	30
4.5.5	水平同期信号幅	31
4.5.6	垂直取り込み開始位置	32
4.5.7	垂直 DE 開始位置	33
4.5.8	垂直表示期間	34
4.5.9	垂直同期信号幅	35
4.5.10	自動計測	36
4.5.11	取り込み開始位置の自動計測	38
4.5.12	未登録信号入力時の自動計測	40
4.5.13	機種データの読み出し	41
4.5.14	機種データの登録	42
4.5.15	トラッキング	43
4.5.16	マスキング	44
4.6	出力設定	46
4.6.1	出カイコライザ	46
4.6.2	出力モード	47
4.6.3	Deep Color 出力	48
4.6.4	ラインダブラー	49
4.7	EDID	50

---

4.7.1 入力解像度.....	50
4.8 その他設定.....	52
4.8.1 電源投入時のキーロック.....	52
4.8.2 パワーセーブ.....	53
4.8.3 トップ画面表示.....	54
4.8.4 入力信号状態表示.....	55
4.8.5 映像信号出力状態表示.....	56
4.8.6 表示機器の EDID 情報表示.....	57
4.8.7 工場出荷時設定.....	59
4.8.8 バージョン情報表示.....	59
5 ASCII コード表.....	60
6 製品仕様.....	62
7 正常に動作しないときは.....	64

## 1 製品概要



[図 1.1]映像・音声信号の入出力構成

AD コンバータは、アナログ(映像・音声)入力信号を、デジタル(映像・音声)信号に変換して出力する機器です。

### 【特長】

#### ■ 映像

- ・ NTSC、PAL、VGA～QWXGA および SDTV/HDTV(D1～D5)などの、さまざまな映像フォーマットに対応
- ・ NTSC、PAL 信号を 3 次元 Y/C 分離
- ・ 映像信号は 10bit 量子化による高画質な A/D 変換が可能
- ・ 簡易ダブラー機能搭載(480i、1080i)
- ・ デジタル出力(HDMI・DVI)にケーブル補償機能搭載
- ・ ブライツネス、コントラストなどの調整機能

#### ■ 音声

- ・ アナログ音声入力を HDMI 出力にエンベデットすることが可能

#### ■ その他

- ・ EDID エミュレート機能
- ・ 本体 AC アダプタ接続部はロック機構搭載

## 2 各部名称と働き

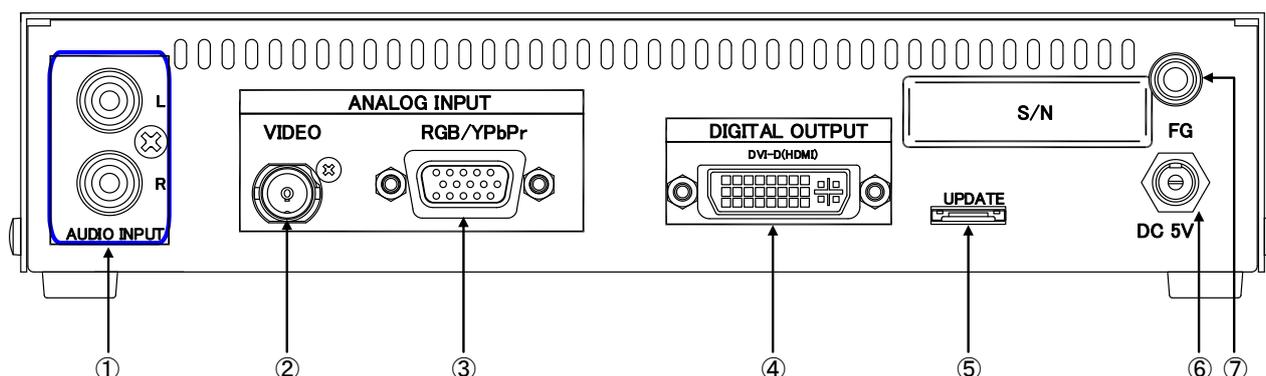
### 2.1 フロントパネル



【図 2.1】 フロントパネル

- ① ディスプレイ  
メニューおよび設定を表示します。
- ② メニュー表示/決定キー（MENU/SET）  
メニューをディスプレイに表示します。また、設定の決定を行います。
- ③ エスケープキー（ESC）  
メニュー設定を終了します。初期画面表示時に長押しで自動計測を行います。
- ④ 十字キー（▲, ▼, ◀, ▶）  
メニューの切り換え、カーソルの移動、設定値の変更を行います。

## 2.2 リアパネル



[図 2.2] リアパネル

- ① 音声信号入力コネクタ（L, R）  
ステレオ音声の入力コネクタです。
- ② 映像入力コネクタ（VIDEO）  
コンポジットビデオ(NTSC/PAL)の入力コネクタです。
- ③ 映像入力コネクタ（RGB/YPbPr）  
コンポジットビデオ(NTSC/PAL)、RGB(パソコン等)および YPbPr(SDTV/HDTV)の映像信号の入力ができます。
- ④ DVI 出力コネクタ（DVI-D(HDMI)）  
DVI の出力コネクタです。HDMI 信号の出力も可能です。
- ⑤ 保守用コネクタ（UPDATE）  
未使用。  
このコネクタには何も接続しないでください。
- ⑥ 電源コネクタ（DC5V）  
付属の AC アダプタを接続することで本機に電源が供給されます。
- ⑦ フレームグラウンド（FG）  
屋内のアース端子と接続します。

### 3 基本操作

#### 3.1 メニュー操作



[図 3.1] メニュー操作キー

- MENU/SET キー : メニュー表示、設定値の決定を行ないます。
- ESC キー : メニューから抜けます。
- ▲▼ キー : メニューの切り換え、設定値の変更を行ないます。
- ◀▶ キー : カーソルの移動、または設定する項目の選択を行ないます。
- ディスプレイ : メニュー及び設定を表示します。
- ※ 関連項目 : メニュー一覧(P.13)

ディスプレイの輝度は、30 秒間操作がなければ自動的に 0%になります。ディスプレイを常時 100%の輝度で表示する場合は、4.8.2 パワーセーブ(P.53)の設定を変更してください。

#### 3.2 キーロック設定/解除の操作

初期画面で▶キーを2秒以上押し続けることにより、フロントキーのキーロック設定/解除が可能です。キーロックの設定を変更し、ディスプレイに状態を1秒間表示します。

KEY LOCK !

キーロック中

KEY LOCK RELEASE !

キーロック解除

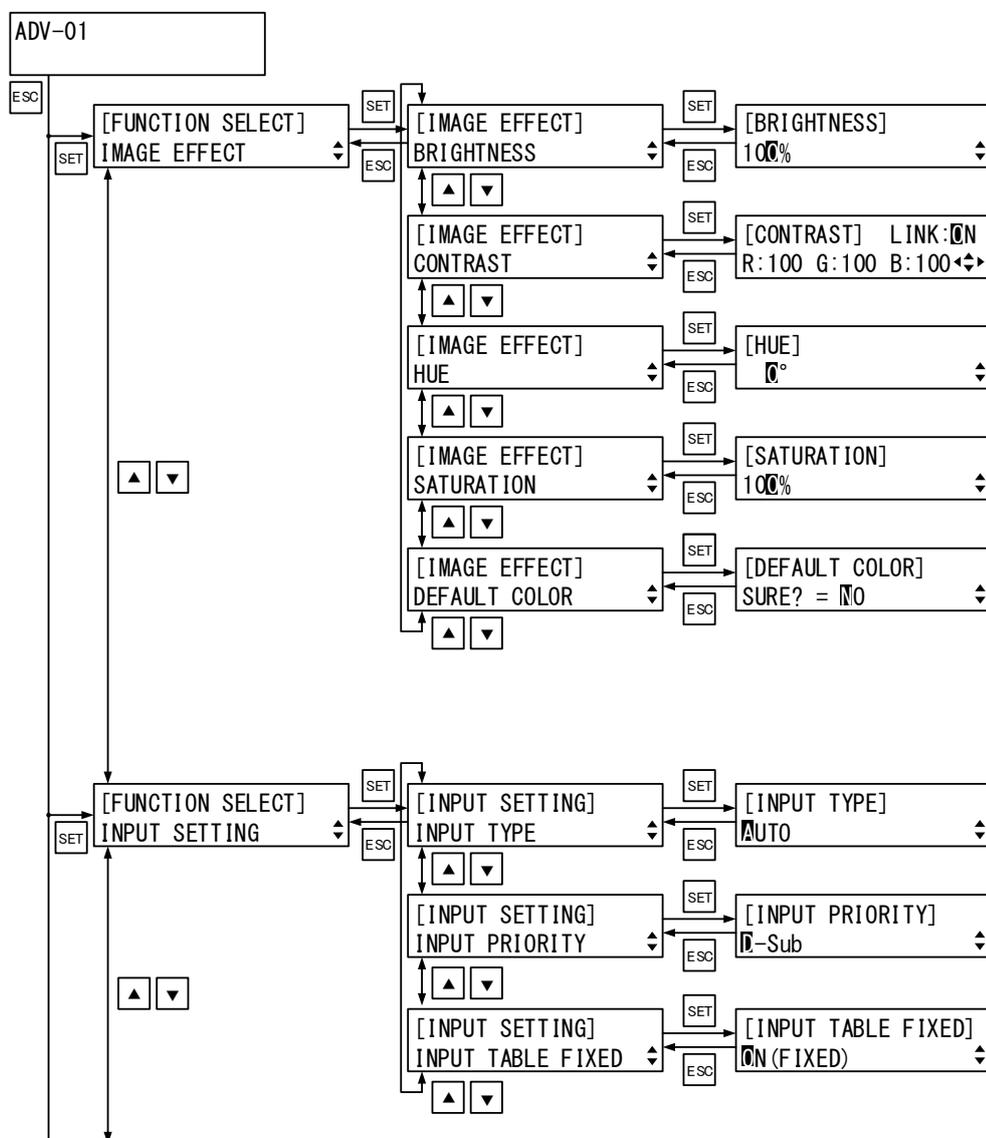
#### 3.3 工場出荷時の設定に戻す

OTHERS メニュー内にある FACTORY SETTING にて、4 各種設定(P.13)の状態を工場初期値に戻すことが可能です。NOW INITIALIZATION..の表示が消えると初期化が終了し、通常の動作を開始します。

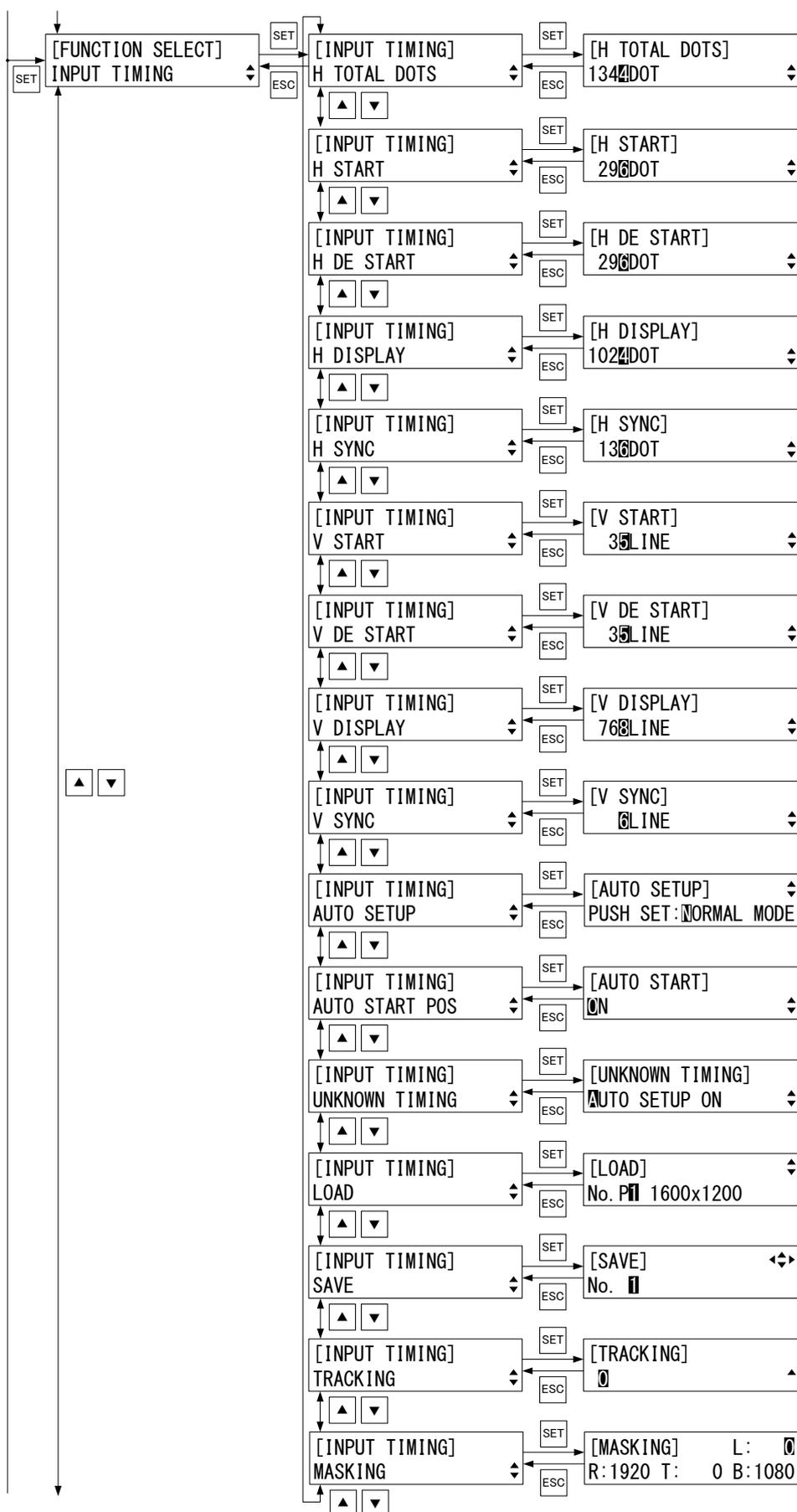
※ 一度工場初期値にすると、それまで使用していた設定に戻すことはできませんのでご注意ください。

## 4 各種設定

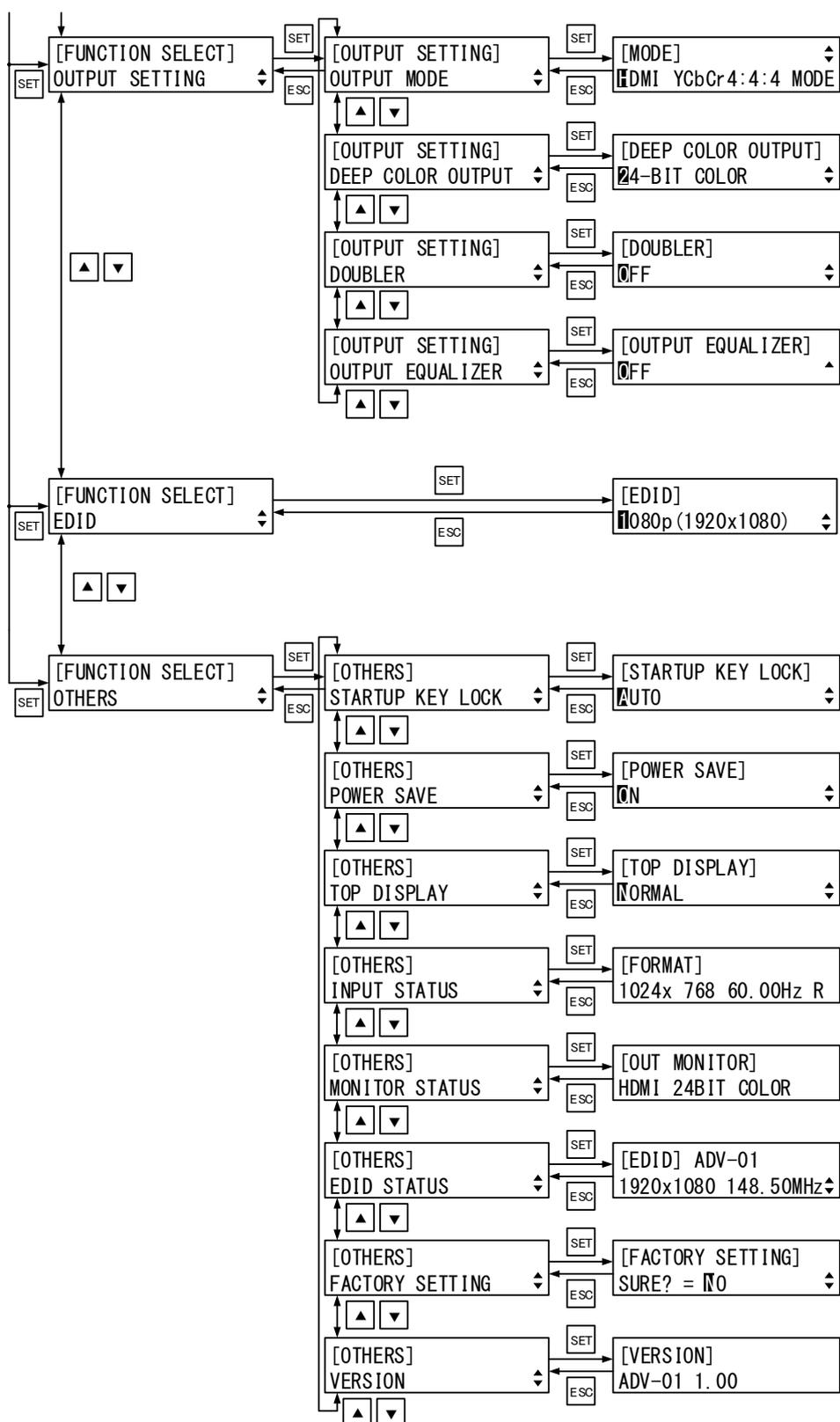
## 4.1 メニュー一覧



[図 4.1a] メニュー表(1/3)



[図 4.1b] メニュー表(2/3)

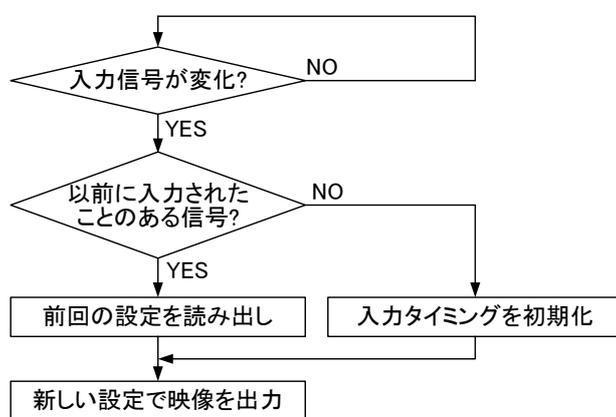


[図 4.1c] メニュー表(3/3)

操作メニューは設定項目ごとの階層メニューになっており、図 4.1 の左からメインメニュー、サブメニュー、設定画面になります。メインメニューおよびサブメニューは ▲▼ キーで選択することが可能です。メインメニュー→サブメニュー→設定画面は SET キーで移行し、設定画面→サブメニュー→メインメニューは ESC キーで戻ることが可能です。設定画面では▲▼◀▶ キーでカーソルの移動や設定を行なうことができ、設定した値は操作後に自動的に記憶されます。なお入力可能な▲▼◀▶キーはディスプレイの右側に表示され、入力可能なメニュー操作キーはキーLEDが点灯します。

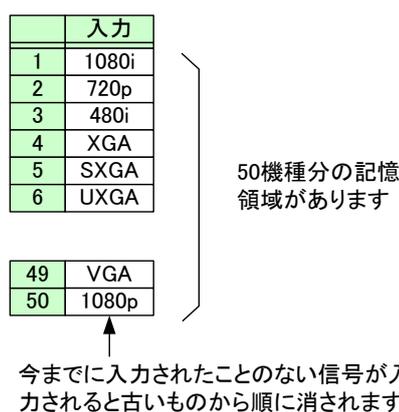
#### 4.2 入力信号の自動判別

本機は入力された信号を常に監視しており、以前に入力されたことのある信号が入力された場合は、前回使用していた画角および画質で映像を出力します。以前に入力されたことのある信号のいずれとも一致しなかった場合は、入力タイミングの設定のみを初期化し、その他は現在の設定のまま映像を出力します。この場合は、必要に応じて画角および画質の調整を行ってください。



【図 4.2a】 入力信号の変化

以前に入力されたことのある信号かどうかの判別は、各チャンネルごとに 50 機種分のデータを記憶しており、この中から検索を行います。50 機種分の記憶領域がいっぱいになった状態で新しい信号が入力された場合は、最近入力されていない古いものから順に消され、上書きされていきます。



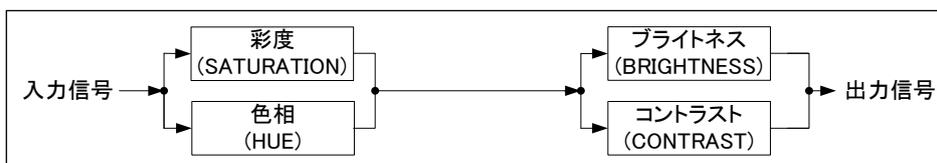
【図 4.2b】 チャンネル毎の記憶テーブル

各入力信号毎に記憶される設定は以下のとおりです。

- ・4.3 画質設定
  - ・4.3.1 ブライトネス(P.18)
  - ・4.3.2 コントラスト(P.19)
  - ・4.3.3 色相 (HUE)(P.20)
  - ・4.3.4 彩度 (SATURATION)(P.21)
- ・4.4 入力設定
  - ・4.4.1 入力信号種別(P.23)
- ・4.5 入力タイミング設定
  - ・4.5.1 水平総ドット数(P.27)
  - ・4.5.2 水平取り込み開始位置(P.28)
  - ・4.5.3 水平 DE 開始位置(P.29)
  - ・4.5.4 水平表示期間(P.30)
  - ・4.5.5 水平同期信号幅(P.31)
  - ・4.5.6 垂直取り込み開始位置(P.32)
  - ・4.5.7 垂直 DE 開始位置(P. 33)
  - ・4.5.8 垂直表示期間(P.34)
  - ・4.5.9 垂直同期信号幅(P.35)
  - ・4.5.11 取り込み開始位置の自動計測(P.38)
  - ・4.5.15 トラッキング(P.43)
  - ・4.5.16 マスキング(P.44)

### 4.3 画質設定

入力された信号の色の偏りなどを補正します。



【図 4.3a】画質設定構成

#### 4.3.1 ブライツネス

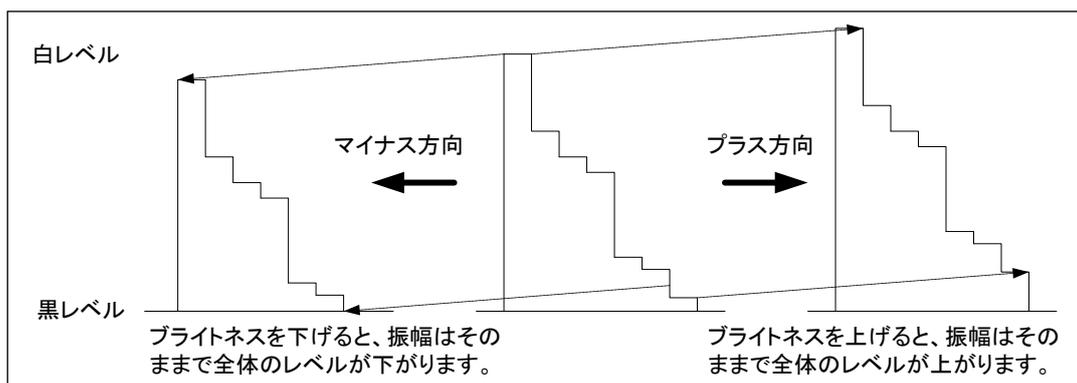
入力信号毎設定

入力された映像のブライツネスを設定します。

・ブライツネス（0% ～ 200% ※初期値 100%）

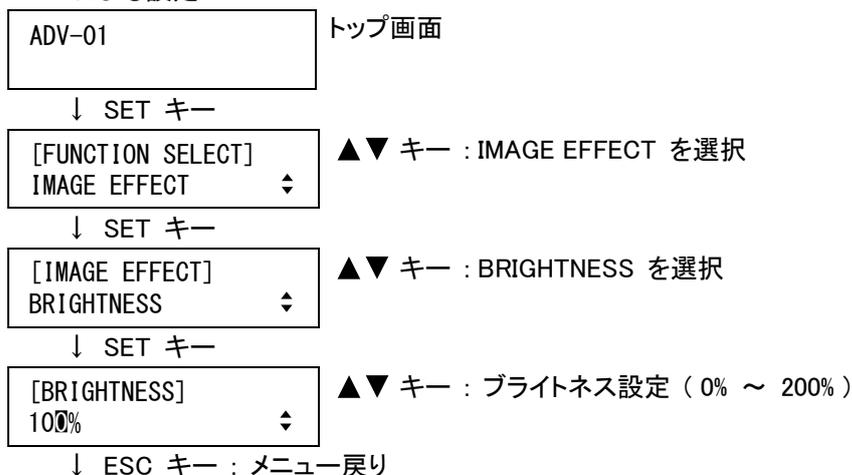
設定数値を小さくすると全体のレベルが下がり、設定数値を大きくすると全体のレベルが上がります。

ブライツネスは「明るさの度合い」を示します。ブライツネスを上げると明るさが増し、白っぽい部分はより明るく表示されますが、黒い部分の明るさも増します。



【図 4.3.1a】ブライツネス

#### ①メニューによる設定



## 4.3.2 コントラスト

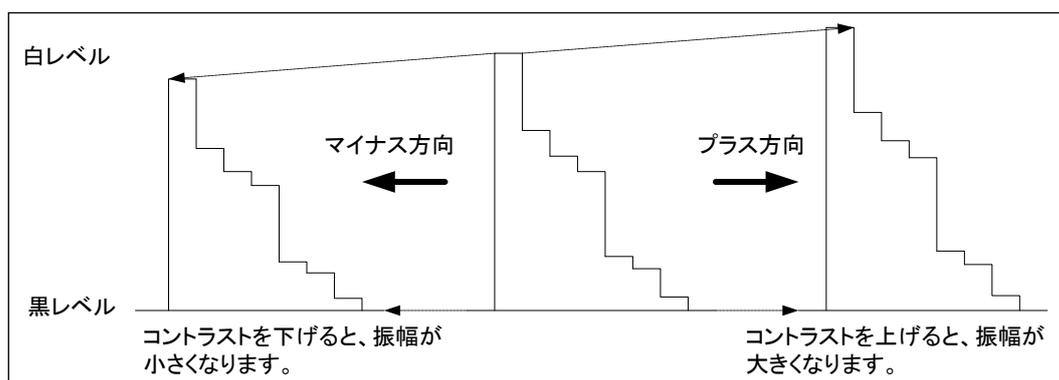
入力信号毎設定

入力された映像のコントラストを設定します。赤、緑、青を別々に設定可能です。

- ・コントラスト(赤) (0% ~ 200% ※初期値 100%)
- ・コントラスト(緑) (0% ~ 200% ※初期値 100%)
- ・コントラスト(青) (0% ~ 200% ※初期値 100%)

設定数値を小さくすると振幅が小さくなり、設定数値を大きくすると振幅が大きくなります。

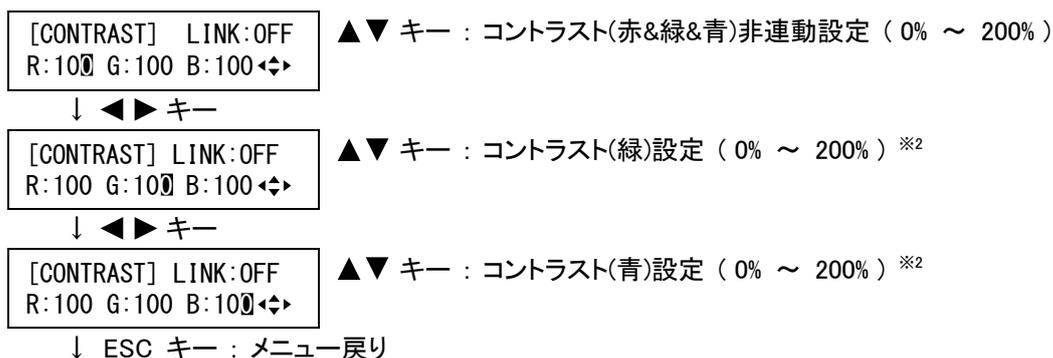
コントラストは「白い部分と黒い部分との明るさの比率」を示します。コントラストを上げると、色が表示されている部分はより明るくなりますが、黒い部分の明るさは変わりません。



【図 4.3.2a】 コントラスト

## ①メニューによる設定

- |  |                                       |
|--|---------------------------------------|
| ADV-01                                   | トップ画面                                 |
| ↓ SET キー                                 |                                       |
| [FUNCTION SELECT]<br>IMAGE EFFECT        | ▲▼ キー : IMAGE EFFECT を選択              |
| ↓ SET キー                                 |                                       |
| [IMAGE EFFECT]<br>CONTRAST               | ▲▼ キー : CONTRAST を選択                  |
| ↓ SET キー                                 |                                       |
| [CONTRAST] LINK: ON<br>R:100 G:100 B:100 | ▲▼ キー : 赤&緑&青連動選択 (OFF, ON) ※1        |
| ↓ ◀▶ キー                                  |                                       |
| [CONTRAST] LINK: ON<br>R:100 G:100 B:100 | ▲▼ キー : コントラスト(赤&緑&青)連動設定 (0% ~ 200%) |
| ↓ ◀▶ キー                                  |                                       |



※1 LINK ON に設定すると赤(R)のみ選択可能になり、赤(R)の設定を変更すると緑(G)と青(B)も現在の設定から相対的に変化します。(例えば、赤(R)を+2 すると緑(G)と青(B)も+2 されます)赤(R)、緑(G)、青(B)のいずれかが制限値に達すると、それ以上は可変できません。

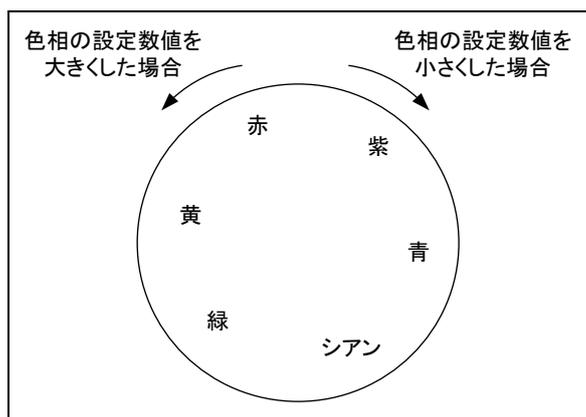
※2 LINK OFF に設定した場合のみカーソルが移動可能です。

### 4.3.3 色相 (HUE)

入力信号毎設定

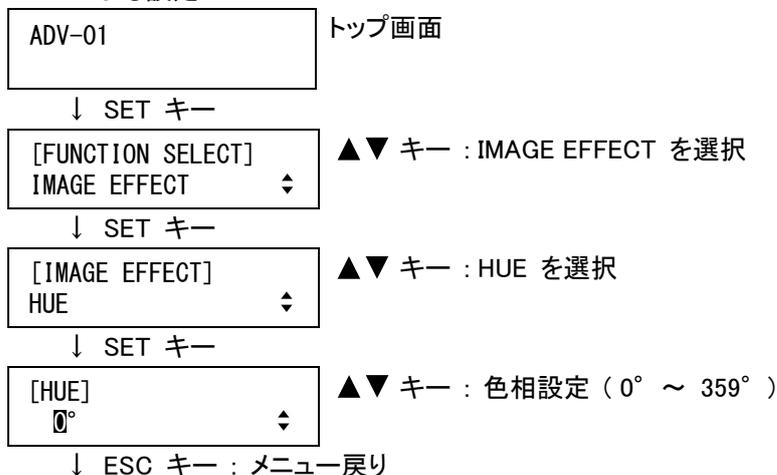
入力された映像の色相(HUE)を設定します。

・色相 ( 0° ~ 359° ※初期値 0° )



【図 4.3.3a】色相

#### ①メニューによる設定



## 4.3.4 彩度 (SATURATION)

入力信号毎設定

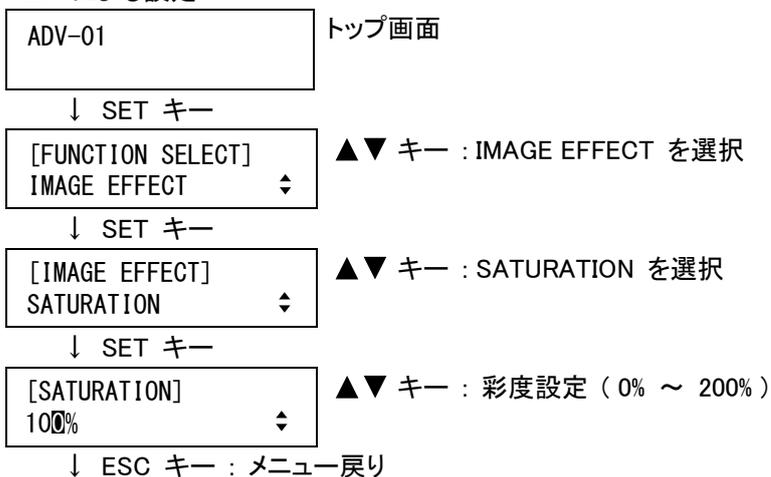
入力された映像の彩度(SATURATION)を設定します。

・彩度 (0% ~ 200% ※初期値 100%)

設定数値を小さくすると色がなくなりモノクロに近づきます。(0%に設定すると完全なモノクロになります)

設定数値を大きくすると色が鮮やかになります。

## ①メニューによる設定

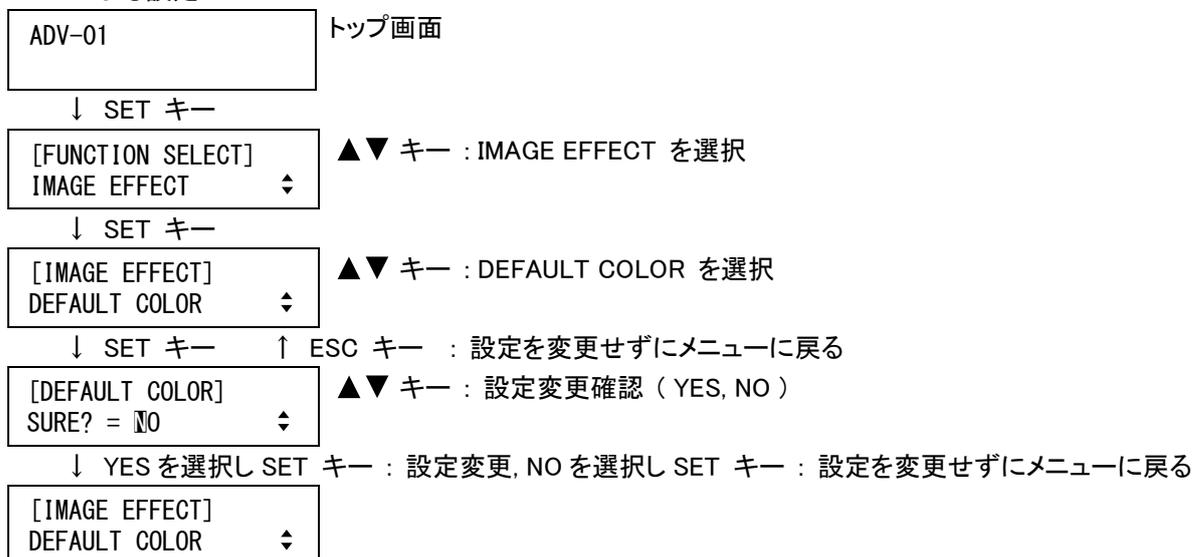


## 4.3.5 入力デフォルトカラー

入力信号毎設定

4.3.1 ブライツネス(P.18)、4.3.2 コントラスト(P.19)、4.3.3 色相 (HUE)(P.20)、4.3.4 彩度 (SATURATION) (P.21)の設定を初期化します。

## ①メニューによる設定



## 4.4 入力設定

### 4.4.1 入力信号種別

入力信号毎設定
---------

入力された信号の種別を設定します。

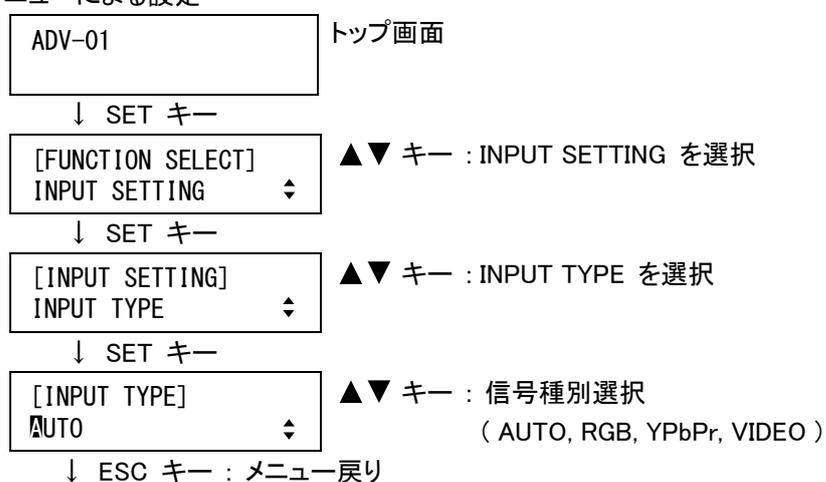
{	・自動	( AUTO ※初期値 )	・アナログ YPbPr	( YPbPr )
	・アナログ RGB	( RGB )	・コンポジットビデオ	( VIDEO )

通常は「AUTO」に設定すれば、入力された信号を自動で判別し設定を行いません。

入力信号の判別に失敗し、正常な映像が出力されない場合は、手動で映像信号の種別を設定してください。

(注) 記録状態の悪いVHSテープの再生映像などを入力した場合は、自動判別できないことがありますので、この場合は「VIDEO」に設定してください。

#### ①メニューによる設定

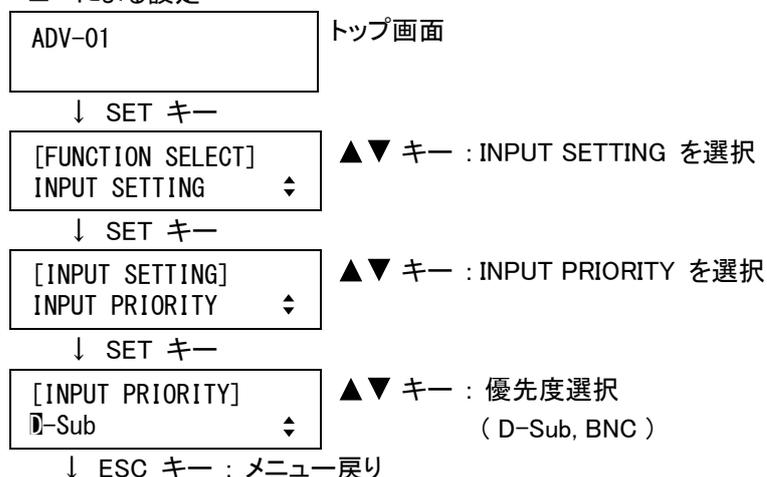


#### 4.4.2 入力信号優先度設定

入力端子(D-Sub, BNC)の両方に信号が入力された場合、どちらを出力するか優先度を設定します。

- {
  - ・D-Sub ※初期値
  - ・BNC

##### ①メニューによる設定



#### 4.4.3 入力信号毎設定の固定

本機は入力信号を常に監視しており、以前に入力された信号が再び入力された場合、入力信号毎に記憶されている設定で映像を出力することができます。

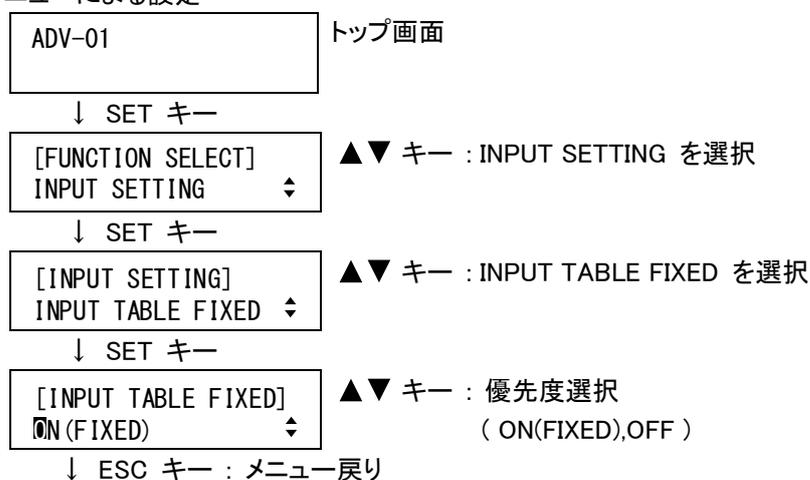
この機能では、入力信号毎に記憶されている設定を使用するか、現在の設定を使用するかを選択します。

“ON(FIXED)”に設定した場合、現在の入力の設定で映像を出力します。

“OFF”に設定した場合、入力信号毎に記憶されている設定を読み出し、映像を出力します。

- {
  - ・ON(FIXED) ※初期値
  - ・OFF

##### ①メニューによる設定

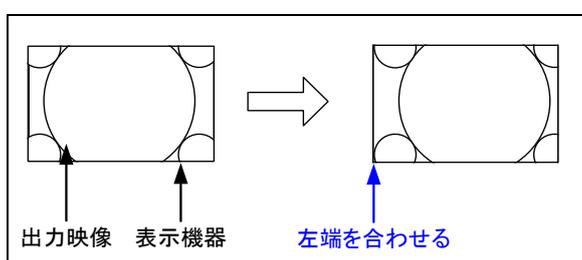


## 4.5 入力タイミング設定

本機は入力された信号を常に監視しており、入力された信号が変化したときに、内蔵された機種ごとのテーブルから最適なテーブルを読み出し、変換動作を行ないます。しかし、本機に登録されていない信号が入力された場合や、本機に登録されている標準のテーブルを使用すると出力される映像がずれる場合は、入力タイミングを設定する必要があります。本機に登録されていない信号かどうかは、**4.8.4 入力信号状態表示**(P.55)で確認することが可能です。また、**4.5.10 自動計測**(P.36)の操作で入力された映像を計測して、自動的に入力タイミングを設定することも可能です。入カマスキングの設定もこちらのメニューで行うことができます。映像の端が欠けてしまう場合などは入力タイミングの微調整を行ってください。

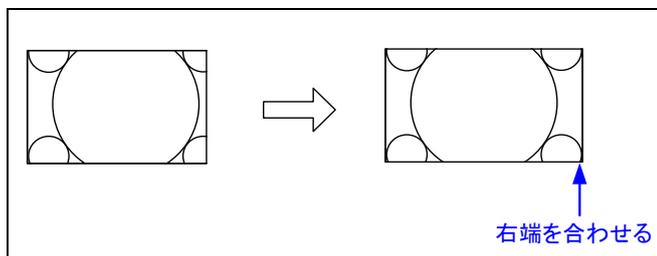
**4.5.10 自動計測**(P.36)を行っても映像の端が掛けてしまう場合は以下の手順を参考にして設定を行なってください。

手順 1 映像の端が欠けてしまう場合は表示機器の左端と出力された映像の左端が合うように、**4.5.2 水平取り込み開始位置**(P.28)を調整します。



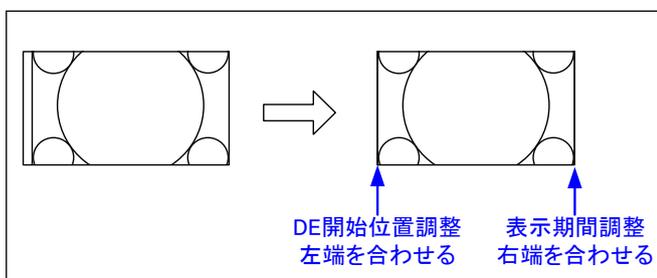
[図 4.5a] 水平取り込み開始位置の調整

手順 2 表示機器の右端と出力された映像の右端が合うように、**4.5.4 水平表示期間**(P.30)を調整します。



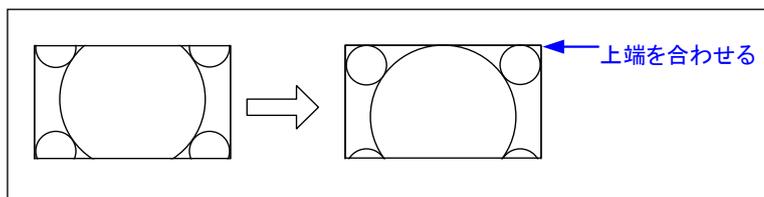
[図 4.5b] 水平表示期間の調整

手順 3 **4.5.4 水平表示期間**(P.30)の設定後、左端がずれてしまった場合は、出力の開始位置がずれているので表示機器の左端と出力された映像の左端が合うように **4.5.3 水平 DE 開始位置**(P.29)を調整し、もう一度表示機器の右端と出力された映像の右端が合うように、**4.5.4 水平表示期間**(P.30)を調整します。



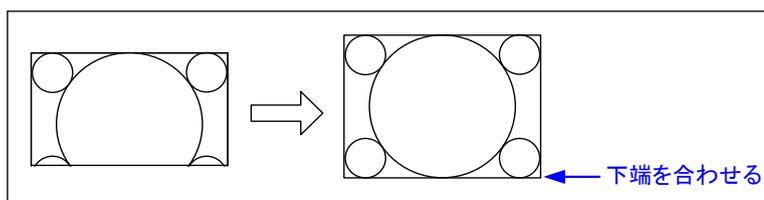
[図 4.5c] 水平 DE 開始位置の調整

- 手順4 表示機器の上端と出力された映像の上端が合うように、4.5.6 垂直取り込み開始位置(P.32)を調整します。



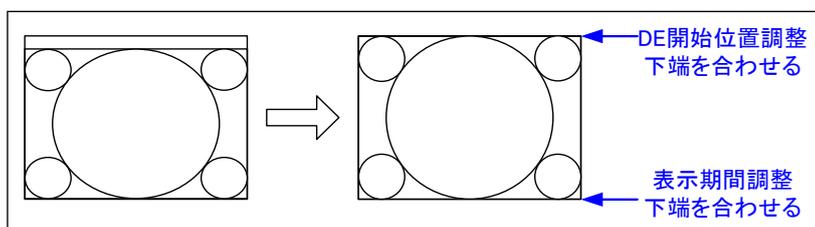
[図 4.5d] 垂直取り込み開始位置の調整

- 手順5 表示機器の下端と出力された映像の下端が合うように、4.5.8 垂直表示期間(P.34)を調整します。



[図 4.5e] 垂直表示期間の調整

- 手順6 4.5.8 垂直表示期間(P.34)の設定後、上端がずれてしまった場合は、出力の開始位置がずれているので表示機器の上端と出力された映像の上端が合うように 4.5.7 垂直 DE 開始位置(P.33)を調整し、もう一度表示機器の下端と出力された映像の下端が合うように、4.5.8 垂直表示期間(P.34)を調整します。



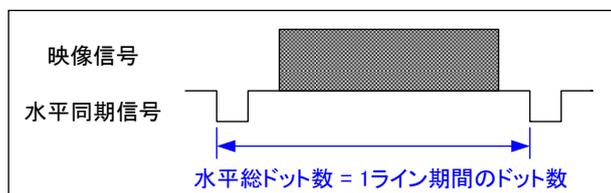
[図 4.5f] 垂直 DE 開始位置の調整

## 4.5.1 水平総ドット数

入力信号毎設定

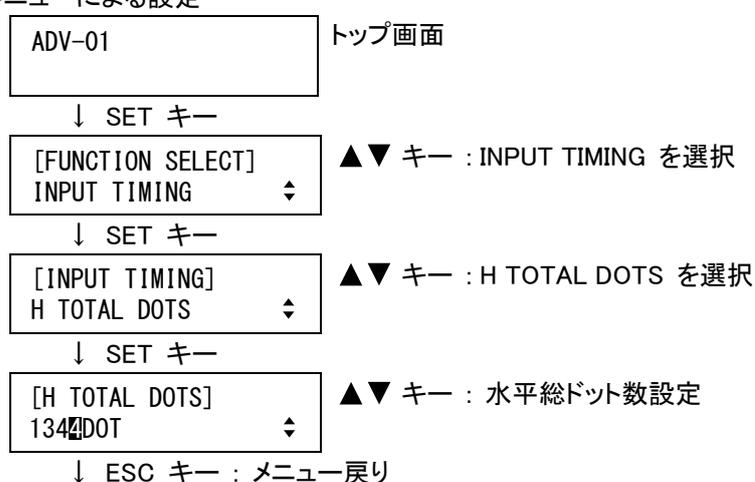
アナログ RGB/アナログ YPbPr 入力映像の水平の総ドット数を設定します。

- ・水平総ドット数 ( 400 ~ 4125 (ただしサンプリングクロックが 13MHz~162MHz の範囲内)  
※初期値 入力された信号により異なります )



[図 4.5.1a] 水平総ドット数

## ①メニューによる設定



(注) 水平総ドット数は、RGB 信号または YPbPr 信号が入力されている場合のみ設定可能で、ビデオ信号は設定値の表示のみ行ない、設定を変更することはできません。また入力信号がない場合は、メッセージを表示し設定することができません。

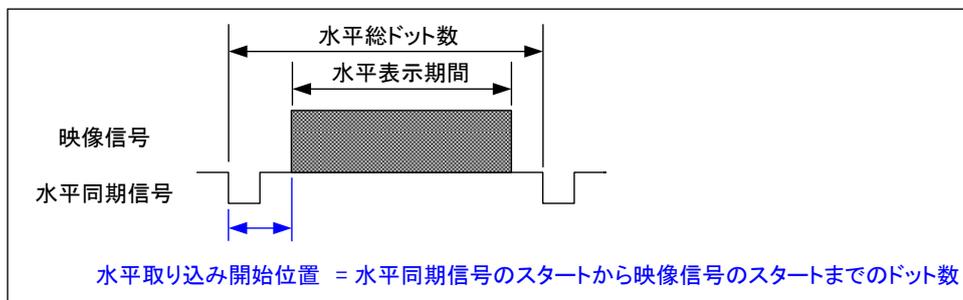
[H TOTAL DOTS]  
NOT AVAILABLE NOW

## 4.5.2 水平取り込み開始位置

入力信号毎設定

入力映像の水平の取り込み開始位置を設定します。

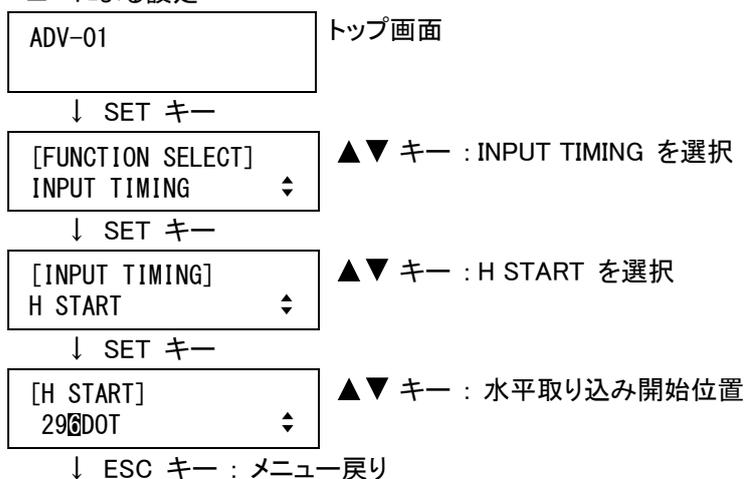
- ・水平取り込み開始位置（10 ～ 2900（ただし水平総ドット数－水平表示期間以下）  
※初期値 入力された信号により異なります）



[図 4.5.2a] 水平取り込み開始位置

設定範囲は、4.5.1 水平総ドット数(P.27)、および 4.5.4 水平表示期間(P.30)の設定により異なります。設定値は水平総ドット数>水平表示期間>水平取り込み開始位置の関係にあり、水平総ドット数または水平表示期間の設定を変更することにより水平取り込み開始位置の設定が設定範囲を超えてしまう場合は、水平取り込み開始位置を自動的に設定範囲の制限値に設定します。

## ①メニューによる設定



(注) 水平取り込開始位置は入力信号がある場合のみ設定可能で、入力信号がない場合は、メッセージを表示し設定することができません。

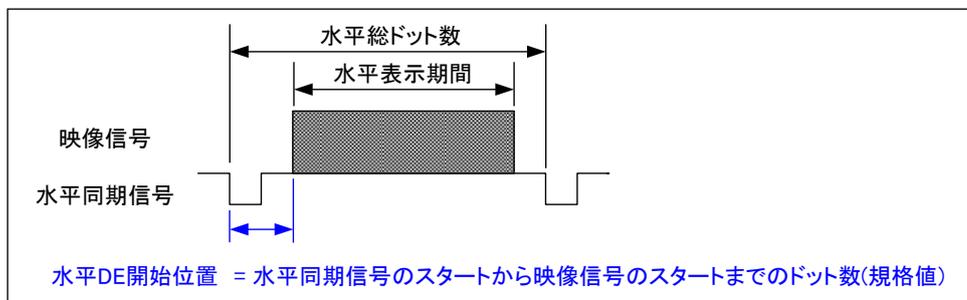
[H START]  
NOT AVAILABLE NOW

## 4.5.3 水平 DE 開始位置

入力信号毎設定

取り込んだ映像の水平の出力開始位置を設定します。

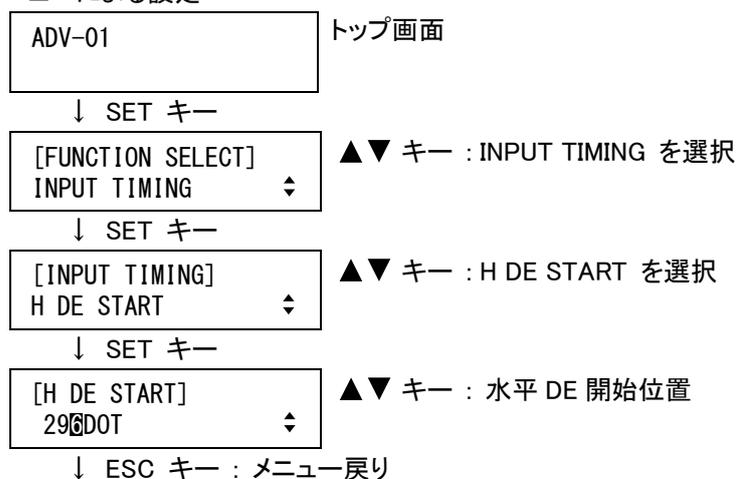
- ・水平取り込み開始位置 (10 ~ 2900 (ただし水平総ドット数 - 水平表示期間以下))  
※初期値 入力された信号により異なります



[図 4.5.3a] 水平 DE 開始位置

設定範囲は、4.5.1 水平総ドット数(P.27)、および 4.5.4 水平表示期間(P.30)の設定により異なります。設定値は水平総ドット数 > 水平表示期間 > 水平取り込み開始位置 = 水平 DE 開始位置の関係にあり、水平総ドット数または水平表示期間の設定を変更することにより水平 DE 開始位置の設定が設定範囲を超えてしまう場合は、水平 DE 開始位置を自動的に設定範囲の制限値に設定します。

## ①メニューによる設定



(注) 水平 DE 開始位置は入力信号がある場合のみ設定可能で、入力信号がない場合は、メッセージを表示し設定することができません。

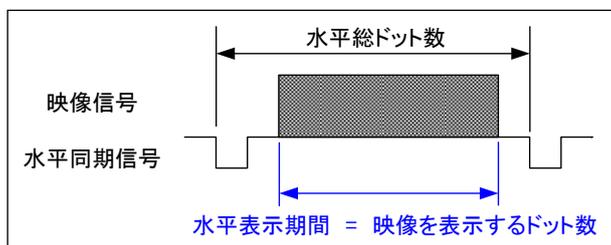
[H DE START]  
NOT AVAILABLE NOW

## 4.5.4 水平表示期間

入力信号毎設定

入力映像の水平の表示期間を設定します。

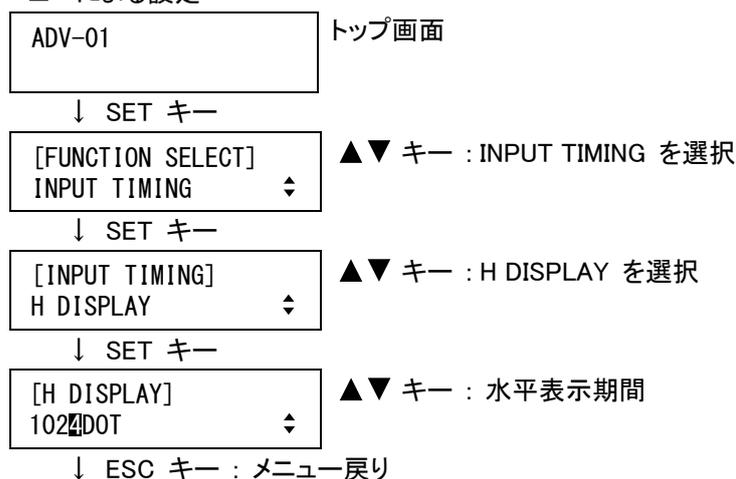
- ・水平表示期間 (10 ~ 2900 (ただし水平総ドット数-10 以下)  
※初期値 入力された信号により異なります )



【図 4.5.4a】 水平表示期間

設定範囲は、4.5.1 水平総ドット数(P.27)の設定により異なります。設定値は水平総ドット数>水平表示期間の関係にあり、水平総ドット数を変更することにより水平表示期間の設定が設定範囲を超えてしまう場合は、水平表示期間を自動的に設定範囲の制限値に設定します。

## ①メニューによる設定



(注) 水平表示期間は入力信号がある場合のみ設定可能で、入力信号がない場合は、メッセージを表示し設定することができません。

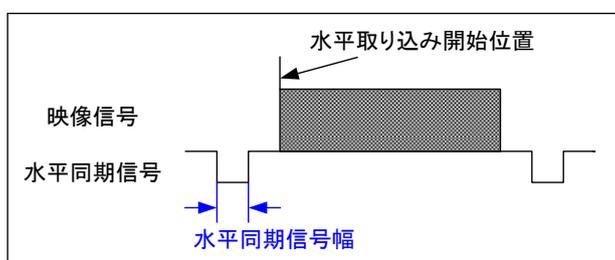
[H DISPLAY]  
NOT AVAILABLE NOW

## 4.5.5 水平同期信号幅

入力信号毎設定

入力映像の水平の同期信号幅を設定します。

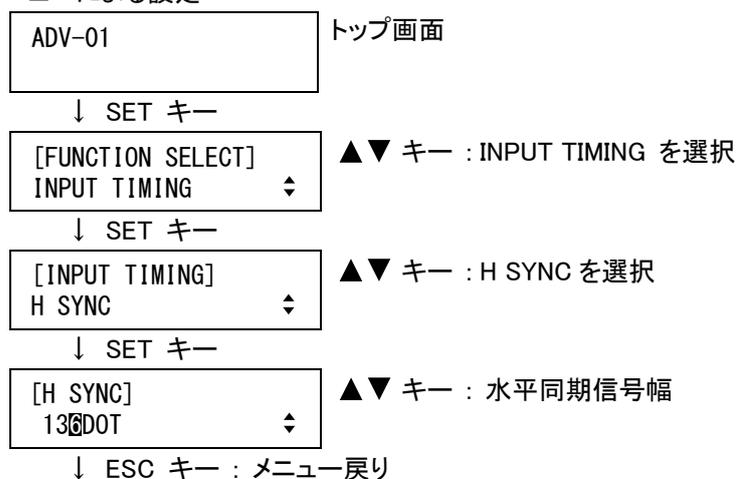
- ・水平同期信号幅 (9 ~ 360 (ただし水平取り込み開始位置以下)  
※初期値 入力された信号により異なります )



[図 4.5.5a] 水平同期信号幅

設定範囲は、4.5.1 水平総ドット数(P.27)、および 4.5.2 水平取り込み開始位置(P.28)、4.5.4 水平表示期間(P.30) の設定により異なります。設定値は水平総ドット数 > 水平表示期間 > 水平取り込み開始位置 > 水平同期信号幅の関係にあり、水平総ドット数、水平表示期間、水平取り込み開始位置のいずれかの設定を変更することにより水平同期信号幅の設定が設定範囲を超えてしまう場合は、水平同期信号幅を自動的に設定範囲の制限値に設定します。

## ①メニューによる設定



(注) 水平同期信号幅は入力信号がある場合のみ設定可能で、入力信号がない場合は、メッセージを表示し設定することができません。

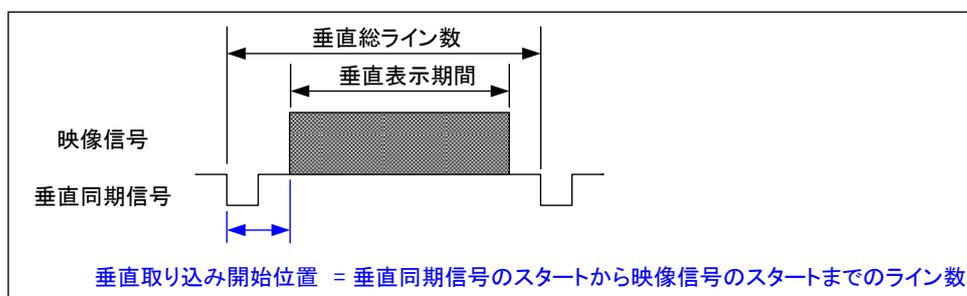
[H SYNC]  
NOT AVAILABLE NOW

## 4.5.6 垂直取り込み開始位置

入力信号毎設定

入力映像の垂直の取り込み開始位置を設定します。

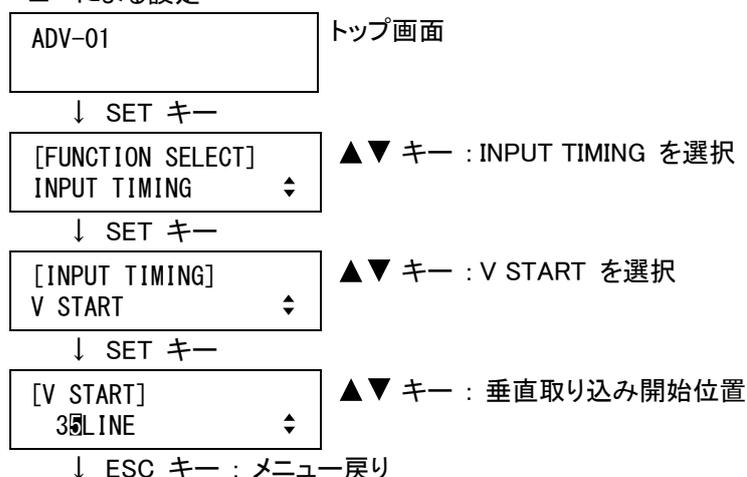
- ・垂直取り込み開始位置（10 ～ 2048（ただし垂直総ライン数－垂直表示期間以下）  
※初期値 入力された信号により異なります）
- ・設定範囲（初期値-8 ～ 初期値+7）



[図 4.5.6a] 垂直取り込み開始位置

設定範囲は、入力された信号の総ライン数(本機が自動で計測します)、および 4.5.8 垂直表示期間(P.34)の設定により異なります。設定値は垂直総ライン数>垂直表示期間>垂直取り込み開始位置の関係にあり、垂直表示期間を変更することにより、垂直取り込み開始位置の設定が設定範囲を超えてしまう場合は、垂直取り込み開始位置を自動的に設定範囲の制限値に設定します。

## ①メニューによる設定



(注) 垂直取り込み開始位置は入力信号がある場合のみ設定可能で、入力信号がない場合は、メッセージを表示し設定することができません。

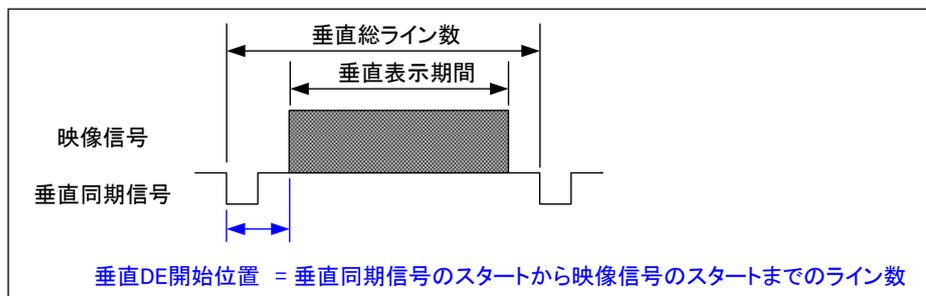
[V START]  
NOT AVAILABLE NOW

## 4.5.7 垂直 DE 開始位置

入力信号毎設定

取り込んだ映像の垂直の出力開始位置を設定します。

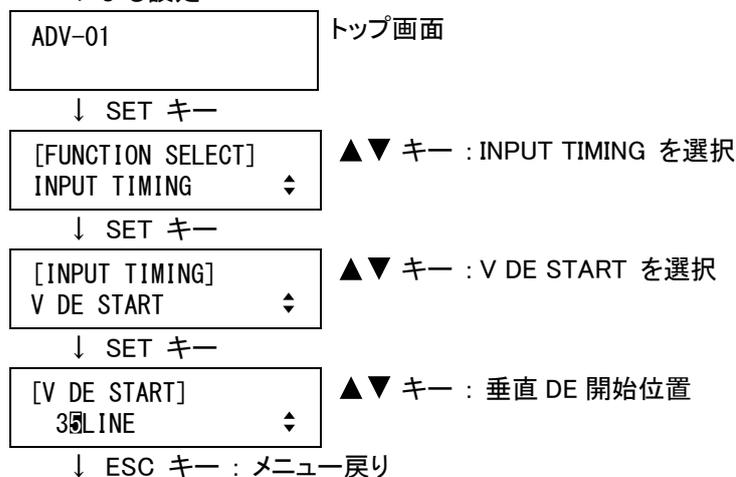
- ・垂直 DE 開始位置 (10 ~ 2048 (ただし垂直総ライン数 - 垂直表示期間以下)  
※初期値 入力された信号により異なります)



[図 4.5.7a] 垂直 DE 開始位置

設定範囲は、入力された信号の総ライン数(本機が自動で計測します)、および 4.5.8 垂直表示期間(P.34)の設定により異なります。設定値は垂直総ライン数 > 垂直表示期間 > 垂直取り込み開始位置 = 垂直 DE 開始位置の関係にあり、垂直表示期間を変更することにより、垂直 DE 開始位置の設定が設定範囲を超えてしまう場合は、垂直 DE 開始位置を自動的に設定範囲の制限値に設定します。

## ①メニューによる設定



(注) 垂直 DE 開始位置は入力信号がある場合のみ設定可能で、入力信号がない場合は、メッセージを表示し設定することができません。

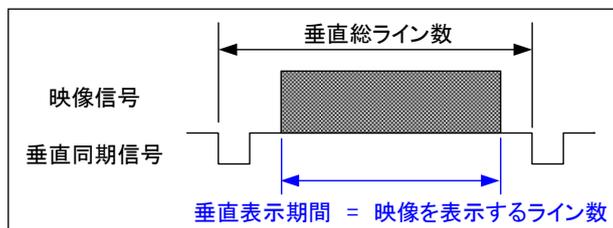
[V DE START]  
NOT AVAILABLE NOW

## 4.5.8 垂直表示期間

入力信号毎設定

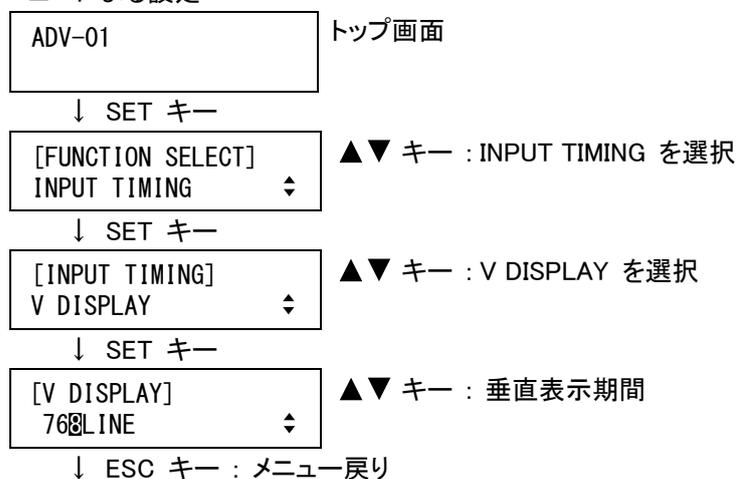
入力映像の垂直の表示期間を設定します。

- ・垂直表示期間（10 ～ 2048 (ただし垂直総ライン数-10 以下)  
※初期値 入力された信号により異なります )



【図 4.5.8a】 垂直表示期間

## ①メニューによる設定



(注) 垂直表示期間は入力信号がある場合のみ設定可能で、入力信号がない場合は、メッセージを表示し設定することができません。

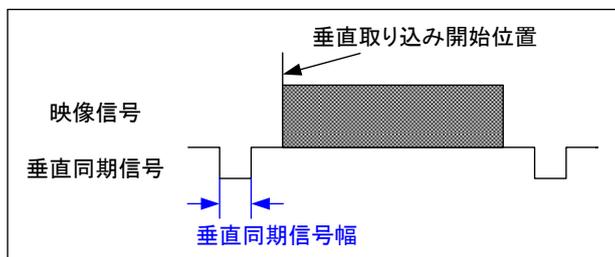
[V DISPLAY]  
NOT AVAILABLE NOW

## 4.5.9 垂直同期信号幅

入力信号毎設定

入力映像の垂直の同期信号幅を設定します。

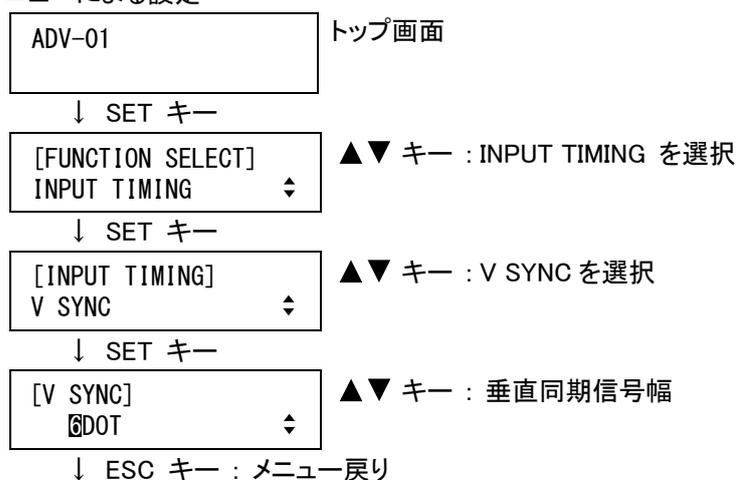
- ・垂直同期信号幅 (1 ~ 20 (ただし垂直取り込み開始位置以下)  
※初期値 入力された信号により異なります )



[図 4.5.9a] 垂直同期信号幅

設定範囲は、入力された信号の総ライン数(本機が自動で計測します)、および 4.5.6 垂直取り込み開始位置 (P.32)、4.5.8 垂直表示期間(P.34)の設定により異なります。設定値は垂直総ライン数 > 垂直表示期間 > 垂直取り込み開始位置 > 垂直同期信号幅の関係にあり、垂直総ライン数、垂直表示期間、垂直取り込み開始位置のいずれかの設定を変更することにより垂直同期信号幅の設定が設定範囲を超えてしまう場合は、垂直同期信号幅を自動的に設定範囲の制限値に設定します。

## ①メニューによる設定



(注) 垂直同期信号幅は入力信号がある場合のみ設定可能で、入力信号がない場合は、メッセージを表示し設定することができません。

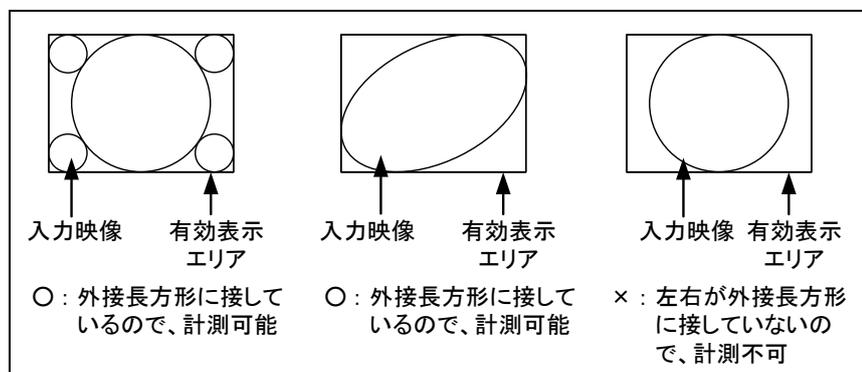
[V SYNC]  
NOT AVAILABLE NOW

## 4.5.10 自動計測

入力信号毎設定

アナログ RGB/アナログ YPbPr 入力映像を計測して、自動的に 4.5.2 水平取り込み開始位置(P.28)、4.5.4 水平表示期間(P.30)、4.5.6 垂直取り込み開始位置(P.32)、4.5.8 垂直表示期間(P.34)、4.5.15 トラッキング(P.43)を設定します。

(注 1) 本メニューを実行する場合は、有効表示エリアの外接長方形に上下左右全てが接し、25%以上の輝度がある映像を入力してください。

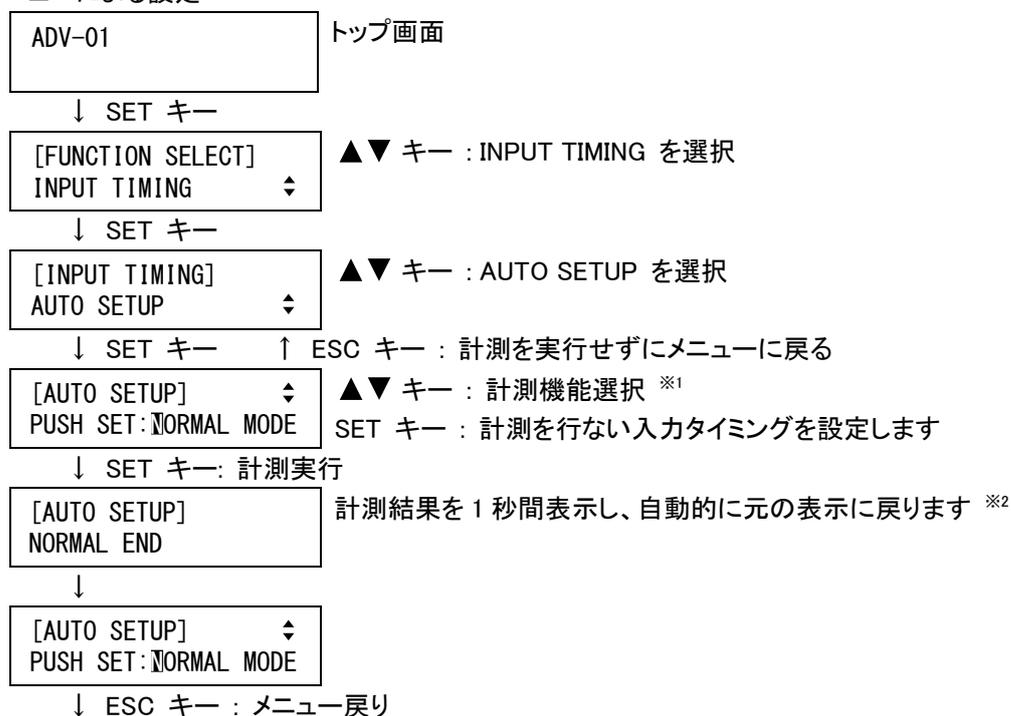


【図 4.5.10a】入力映像の例

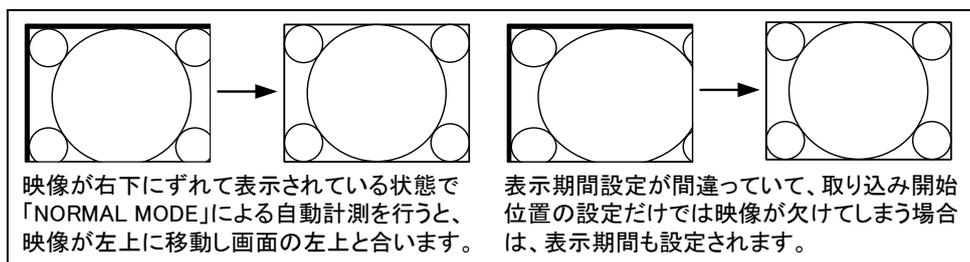
黒の映像や、極端に暗い映像を入力すると、メッセージを表示し計測に失敗します。

MEASUREMENT ERROR

## ①メニューによる設定

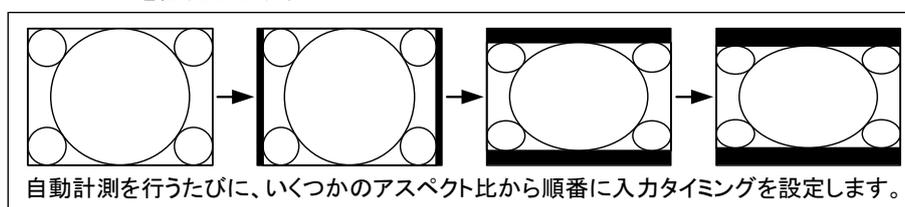


- ※1 通常は計測機能に「NORMAL MODE(取り込み開始位置と表示期間の自動計測)」を選択します。「NORMAL MODE」は映像の端がずれて表示されている場合などに使用し、取り込み開始位置と表示期間を自動で設定することが可能です。



【図 4.5.10b】「NORMAL MODE」による自動計測

本機に登録されていない信号が入力されている場合は「NORMAL MODE」で自動計測を行っても、アスペクト比が一致しない場合があります。この場合は計測機能に「NEXT ASPECT(アスペクト比を考慮した自動計測)」を選択します。SETキーを押すたびに、入力されている信号に応じていくつかのアスペクト比から順番に入力タイミングを設定します。



【図 4.5.10c】「NEXT ASPECT」による自動計測

- ※2 取り込み開始位置の設定のみを行った場合は「NORMAL END」のメッセージを表示し、「NORMAL MODE」で表示期間が変更された場合、「NEXT ASPECT」またはアスペクト比を直接指定した場合は、設定した解像度を表示します。

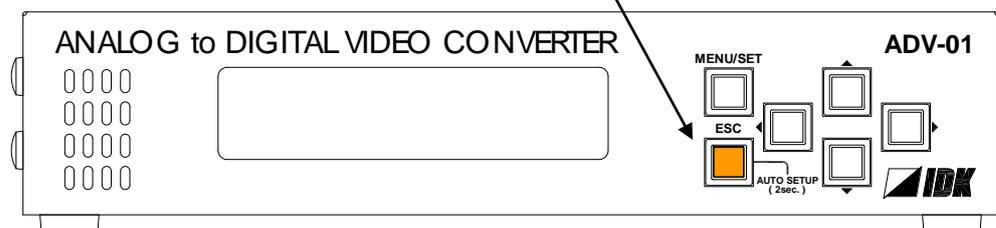
[AUTO SETUP]  
1024x 768 60.00Hz

自動計測の結果、アスペクト比が一致しなかったり、映像が大きくなりすぎてしまう場合は4.5.1 水平総ドット数(P.27)、4.5.2 水平取り込み開始位置(P.28)、4.5.3水平DE開始位置(P.29)、4.5.4 水平表示期間(P.30)、4.5.5水平同期信号幅(P.31)、4.5.6 垂直取り込み開始位置(P.32)、4.5.7垂直DE開始位置(P.33)、4.5.8 垂直表示期間(P.34)、4.5.9垂直同期信号幅(P.35)で入力タイミングの設定を行なってください。

自動計測は、本メニューから実行する他に、初期画面でESCキーを2秒以上押し続けることでも実行が可能です。ESCキーを2秒以上押し続けると「NORMAL MODE」による自動計測モードに移行します。未登録信号の場合はさらにESCキーを3秒以上押し続けると「NEXT ASPECT」による自動計測モードに移行します。(「NEXT ASPECT」による自動計測モードへは、一度ESCキーを離してから、再度ESCキーを3秒以上押し続けることでも移行することが可能です)一度自動計測を実行すると、以降はESCキーを押し続けなくてもキーを押すだけで自動計測の実行が可能です。このモードは、最後に自動計測を実行してから5秒間経過すると解除されます。

- ※ 「NEXT ASPECT」機能は本機に登録されていない信号が入力されている場合のみ選択、実行することが可能です。

初期画面表示時のみ ESC キーを 2 秒以上押し続けると、自動測定を実行します。



【図 4.5.10d】ESC キーでの自動計測

(注) 自動計測は、RGB 信号または YPbPr 信号が入力されている場合のみ実行可能です。ビデオ信号が入力されていたり、入力信号がない場合は、メッセージを表示し実行することができません。

[AUTO SETUP]  
MEASUREMENT ERROR

#### 4.5.11 取り込み開始位置の自動計測

入力信号毎設定

一般的なパソコンは VESA 規格に準拠した映像信号を出力しますが、パソコンによっては規格より数ドットずれて出力されるものがあり、本機に内蔵されたテーブルで映像を出力すると左端が欠けたり、黒が出力される場合があります。本メニューを「ON」に設定すると、入力された信号の左上を常に監視し、自動的に画面の左上に入力映像の左上を合わせます(4.5.2 水平取り込み開始位置(P.28)、4.5.6 垂直取り込み開始位置(P.32)、4.5.15 トラッキング(P.43)を自動設定します)。

- |   |                 |            |             |
|---|-----------------|------------|-------------|
| { | ・この入力チャンネルからの入力 | は全て自動計測しない | ( ALL OFF ) |
|   | ・現在の入力信号        | は自動計測しない   | ( OFF )     |
|   | ・現在の入力信号        | は自動計測する    | ( ON ※初期値 ) |

(注 1) 動画などは、シーンによって画面の端まで映像が表示されないことがあり、自動計測による設定が働いた際に表示位置が動くことがあります。この場合は「OFF」に設定してください。「OFF」または「ON」は入力解像度毎に保存されるので、入力される映像に応じて設定を行なうことが可能です。全ての解像度に対して自動計測を行わない場合は「ALL OFF」を選択してください。

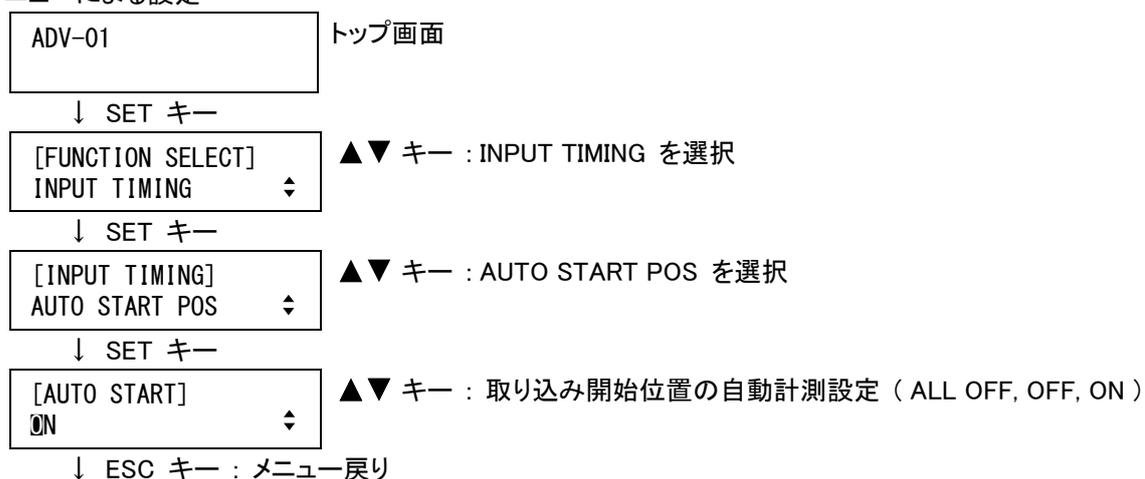
(注 2) 本メニューによる自動計測では取り込み開始位置のみ設定するため、4.5.1 水平総ドット数(P.27)、4.5.4 水平表示期間(P.30)、4.5.8 垂直表示期間(P.34)が一致していないと、画面の右下が欠けたり、黒が出力される場合があります。この場合は、4.5.10 自動計測(P.36)で画面全体の調整を行ってください。また、4.5.2 水平取り込み開始位置および 4.5.6 垂直取り込み開始位置の設定範囲を超えて設定することはできないため、入力された映像によっては左側または上側に黒が表示されることがあります。

(注 3) 取り込み開始位置の自動設定は、25%以上の輝度があり、ほぼ画面いっぱいの映像が入力されている場合のみ有効に機能します。極端に暗い映像や、画面の中央に小さく映像が表示されている場合などは、自動による設定を行いません。

(注 4) 本メニューを「ON」に設定している場合でも、4.5.1 水平総ドット数(P.27)、4.5.2 水平取り込み開始位置(P.28)、4.5.3 水平 DE 開始位置(P.29)、4.5.4 水平表示期間(P.30)、4.5.5 水平同期信号幅(P.31)、4.5.6 垂直取り込み開始位置(P.32)、4.5.7 垂直 DE 開始位置(P.33)、4.5.8 垂直表示期間(P.34)、4.5.9 垂直同期信号幅(P.35)を設定した場合は、手動による設定が優先され自動計測は実行しません。また、4.5.15 トラッキング(P.43)を設定した場合も、手動による設定が優先され、自動計測を実行したときに自動でのトラッキング設定は行いません。

4.5.10 自動計測(P.36)を実行すると、再度本メニューの設定が有効になります。

①メニューによる設定

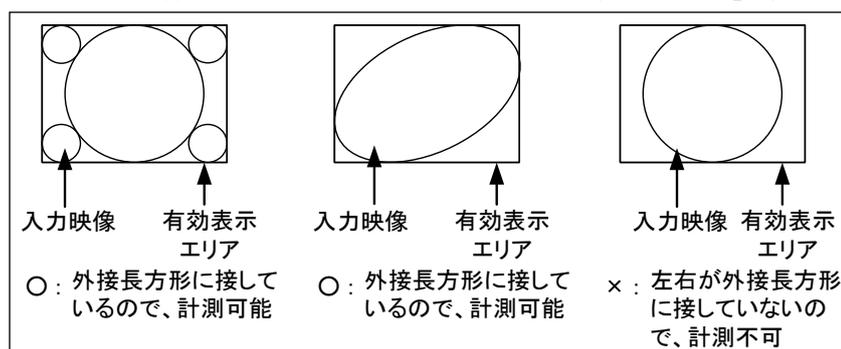


#### 4.5.12 未登録信号入力時の自動計測

本機は入力された信号を常に監視しており、入力された信号が変化したときに、内蔵された機種ごとのテーブルから最適なテーブルを読み出し変換動作を行いますが、本機に登録されていない信号が入力された場合は、入力タイミングの設定が必要になります。本メニューを「ON」に設定すると、本機が判別できない信号が始めて入力されたときに、4.5.10 自動計測(P.36)を実行し自動的に入力タイミングの設定を行います。

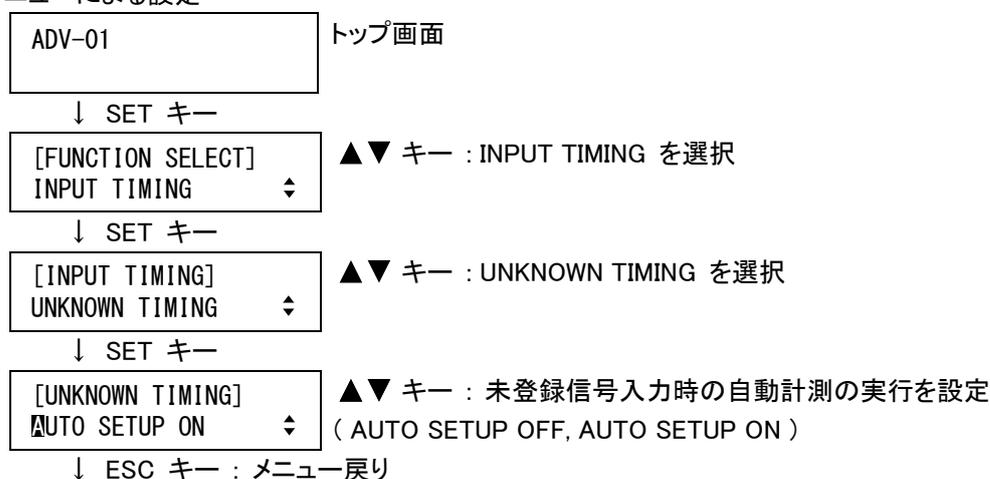
- ・未登録信号入力時に自動計測を実行しない ( AUTO SETUP OFF )
- ・未登録信号入力時に自動計測を実行する ( AUTO SETUP ON ※初期値 )

(注 1) 自動計測は有効表示エリアの外接長方形に上下左右全てが接し、25%以上の輝度がある映像を入力している場合のみ有効に機能します。この条件を外れる映像が入力されると、計測に失敗したり、出力される映像がずれてしまうことがあるため、この場合は「OFF」に設定してください。



[図 4.5.12a] 入力映像の例

##### ①メニューによる設定

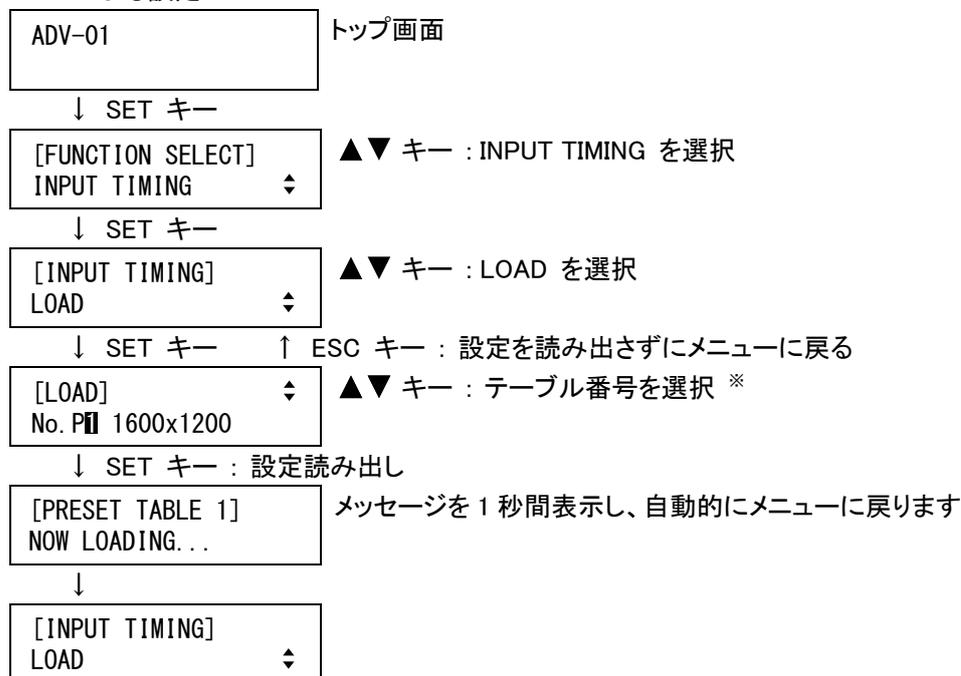


## 4.5.13 機種データの読み出し

入力信号毎設定

登録されている機種データを読み出します。同期信号の周期が同じで、入力タイミングの異なる機種データが複数登録されている、または入力タイミングの再設定が必要な場合などに使用します。

## ①メニューによる設定



※ 読み出すことができるテーブル番号のみ表示されます。数字だけの表示(1 ~ 99)は **4.5.14 機種データの登録**(P.42)で登録した機種データを示し、右側に登録した名前を表示します。「P+数字」の表示は本機にあらかじめ登録されている機種データを示し、右側に解像度を表示します。

```
[LOAD]
No. P1 1600x1200
```

(注) 機種データの読み出しは入力信号があり、入力された信号に対する機種データが登録されている場合のみ実行可能です。

```
[LOAD]
NOT AVAILABLE NOW
```

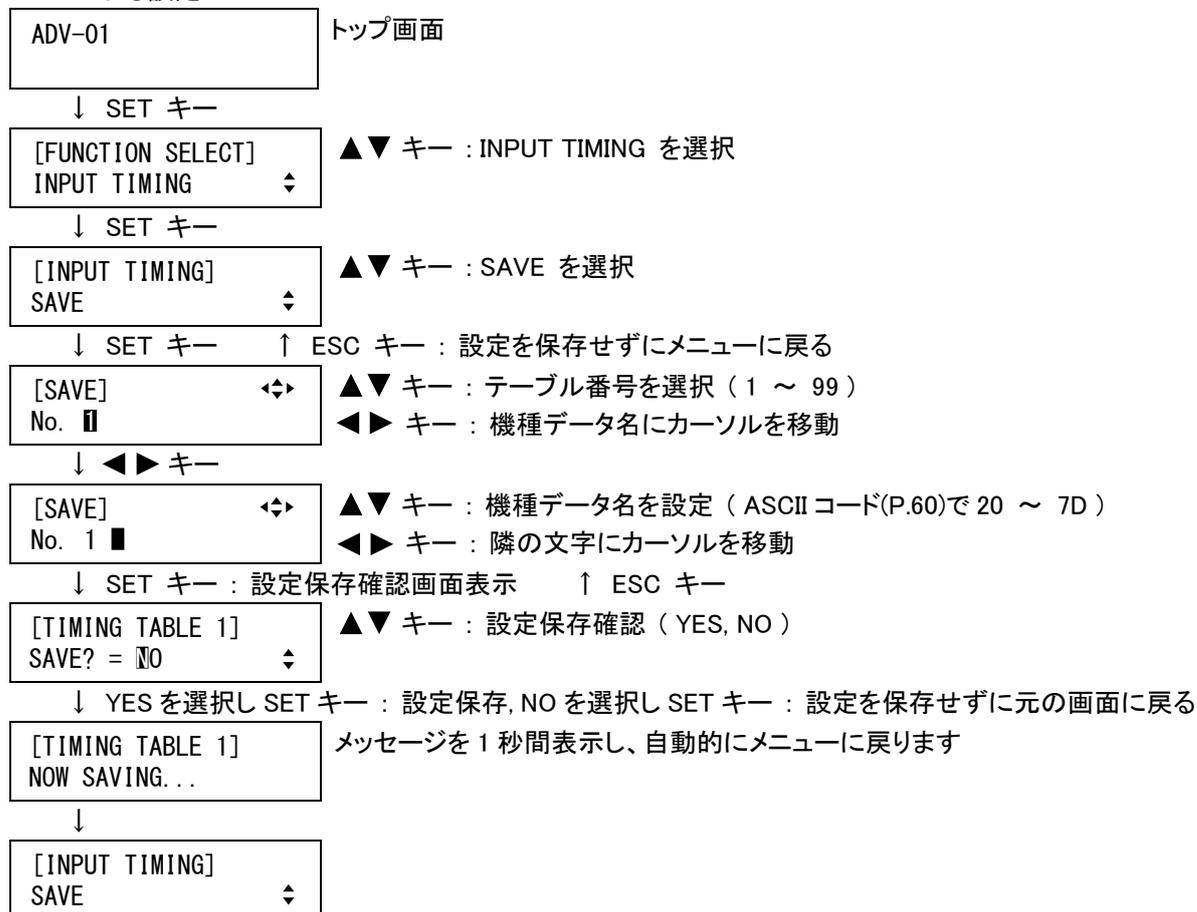
## 4.5.14 機種データの登録

入力信号毎設定

設定したアナログ入力の入力タイミングを機種データとして登録します。

(注意) : ディスプレイに「NOW SAVING...」と表示されている間は本機の電源を切らないでください。  
設定情報を失う可能性があります。

## ①メニューによる設定



(注) 機種データの登録は、RGB 信号または YPbPr 信号が入力されている場合のみ実行可能で、ビデオ信号が入力されている場合、入力信号がない場合は、メッセージを表示し実行することができません。

[SAVE] NOT AVAILABLE NOW
-----------------------------

## 4.5.15 トラッキング

入力信号毎設定

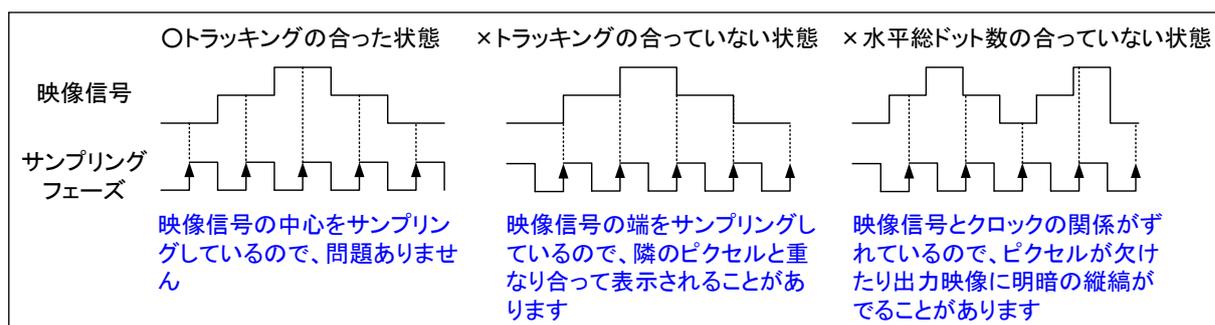
RGB/YPbPr 入力映像のトラッキングを設定します。

・トラッキング (0 ~ 63 ※初期値 0)

トラッキングは、以下の手順に従って調整を行ってください。

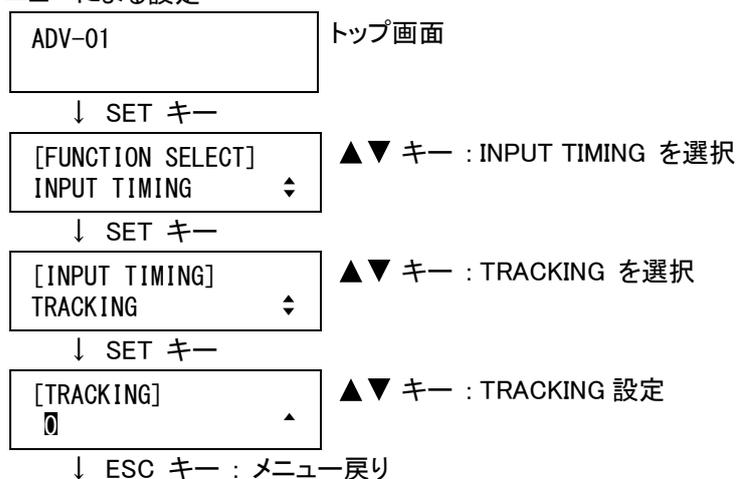
手順1: 入力映像の細かい文字や細い縦線の部分を拡大して表示します。

手順2: トラッキングを変更すると、一定の周期で文字や縦線がはっきりしたり、ぼやけたりするので、最適なところにトラッキングを合わせてください。



【図 4.5.15a】トラッキング

## ①メニューによる設定



(注) トラッキングは、RGB 信号または YPbPr 信号が入力されている場合のみ設定可能です。ビデオ信号が入力されている場合、入力信号がない場合は、メッセージを表示し設定することができません。

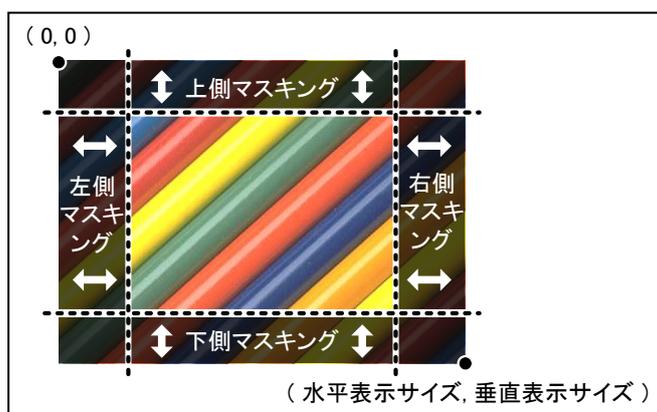
[TRACKING]  
NOT AVAILABLE NOW

## 4.5.16 マスキング

入力信号毎設定

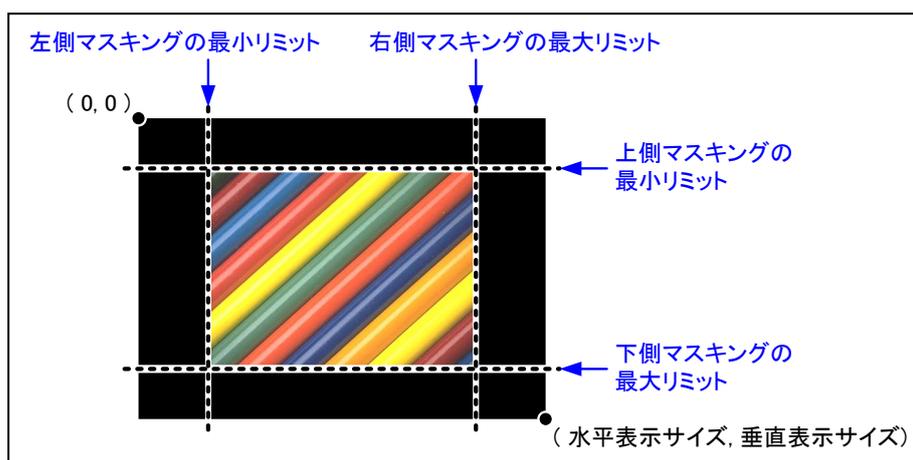
入力された映像のマスキングを、出力画面上のピクセル位置で設定します。マスキングの設定により、上下左右の不要な映像を隠すことが可能です。

- ・左側マスキング ( 0 ~ 右側マスキング / 1ピクセル単位でマスクします  
※初期値 0 )
- ・右側マスキング ( 左側マスキング ~ 入力ピクセル数  
/ 1ピクセル単位でマスクします ※初期値 入力ピクセル数 )
- ・上側マスキング ( 0 ~ 下側マスキング / 1ライン単位でマスクします  
※初期値 0 )
- ・下側マスキング ( 上側マスキング ~ 入力ライン数  
/ 1ライン単位でマスクします ※初期値 入力ライン数 )



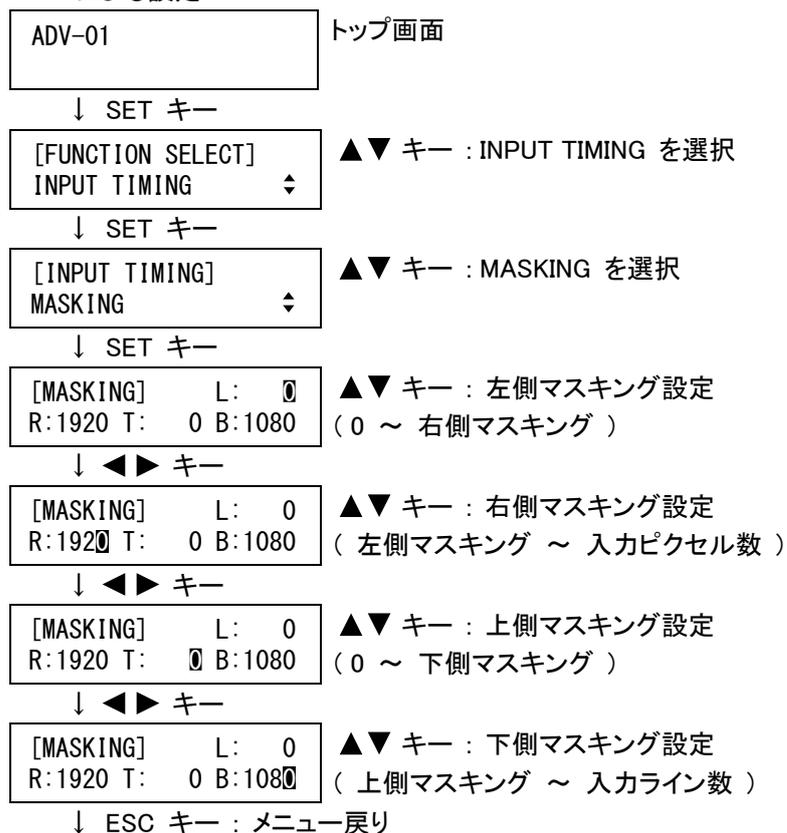
[図 4.5.16a] マスキング

設定範囲は、入力された信号により異なります。初期値は左側と上側が0、右側と下側が入力表示サイズと同じになり、この状態でマスキングなしになります。



[図 4.5.16b] 入カマスキングの設定範囲

## ①メニューによる設定



## 4.6 出力設定

### 4.6.1 出カイコライザ

長いケーブルを接続した場合に減衰してしまう信号を補正するケーブルイコライザ回路が搭載されており、接続するケーブルの長さに応じて補正量を設定します。

- ・補正なし ( OFF ※初期値 )
- ・弱い補正 ( LOW )
- ・中間の補正 ( MIDDLE )
- ・強い補正 ( HIGH )

**[表 4.6.1a] 出カイコライザ対応表**

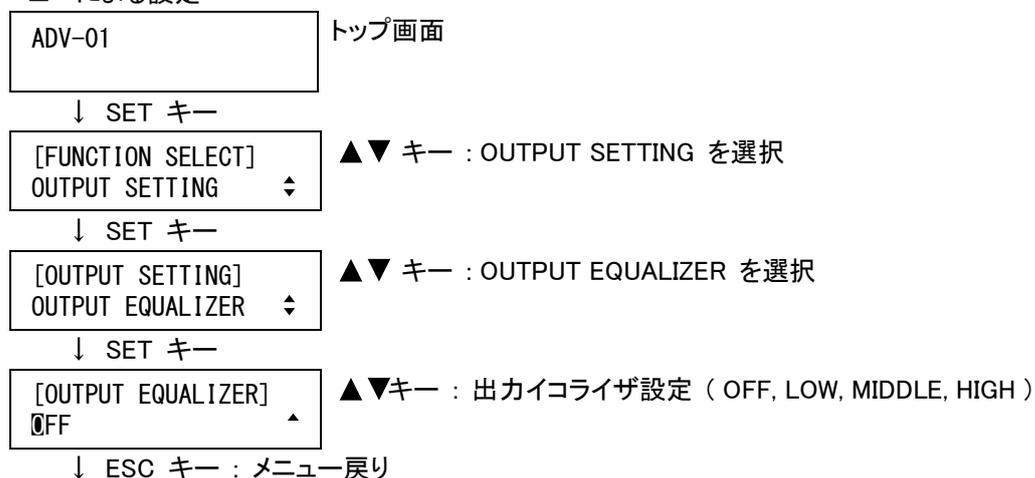
ケーブル長	～10m	10m～
イコライザ設定	OFF～MIDDLE	LOW～HIGH

(注) 上記対応表は IDK 製ケーブルでの距離になりますので他社製品をご使用の際は目安とお考えください。  
また著しく状態の悪い機器に接続しますと映像が乱れることがあります。

**[表 4.6.1b] 補正量**

出カイコライザ設定	補正量
OFF	0.0dB
LOW	1.5dB
MIDDLE	3.5dB
HIGH	6.0dB

#### ①メニューによる設定



#### 4.6.2 出力モード

出力端子の出力モードを選択します。設定値は、「HDMI YCbCr4:4:4 MODE」>「HDMI YCbCr4:2:2 MODE」>「HDMI RGB MODE」>「DVI MODE」の関係にあります。通常は「HDMI YCbCr4:4:4 MODE」に設定しておけば、「HDMIの色差信号」や「DVI信号」に対応していない表示機器が接続された場合でも、自動的に最適なモードで出力します。強制的に「HDMIのRGB信号」や「DVI信号」で出力する場合などは、メニューより設定します。

{	•DVI MODE	•HDMI YCbCr4:2:2 MODE	
	•HDMI RGB MODE	•HDMI YCbCr4:4:4 MODE	( ※初期値 )

(注) 「DVI モード」に設定した場合、音声は出力されません。

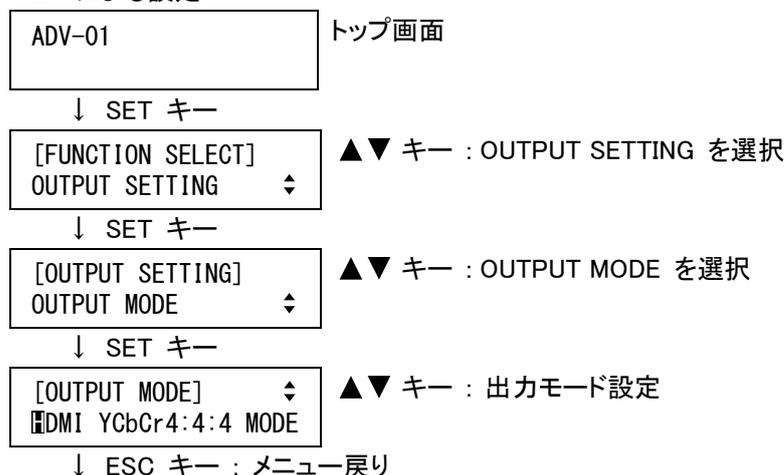
また「YCbCr MODE」で出力されるのは出力解像度がテレビ系(480i, 576i, 720p, 1080i, 1080p)の場合のみで、パソコン系の場合は「HDMI RGB MODE」または「DVI MODE」のいずれかで出力されます。

例えば、出力モードを「HDMI YCbCr4:2:2 MODE」に設定した場合は、接続されている表示機器が対応している信号を、「HDMI YCbCr4:2:2 MODE」→「HDMI RGB MODE」→「DVI MODE」の順でチェックし、最初に一致したモードで出力します。

[表4.6.2a] 出力モードを決定する優先順位

表示機器が対応する信号 出力モード	DVI	HDMI RGB	HDMI YCbCr4:2:2	HDMI YCbCr4:4:4
DVI MODE	1	—	—	—
HDMI RGB MODE	2	1	—	—
HDMI YCbCr4:2:2 MODE	3	2	1	—
HDMI YCbCr4:4:4 MODE	4	3	2	1

##### ①メニューによる設定



### 4.6.3 Deep Color 出力

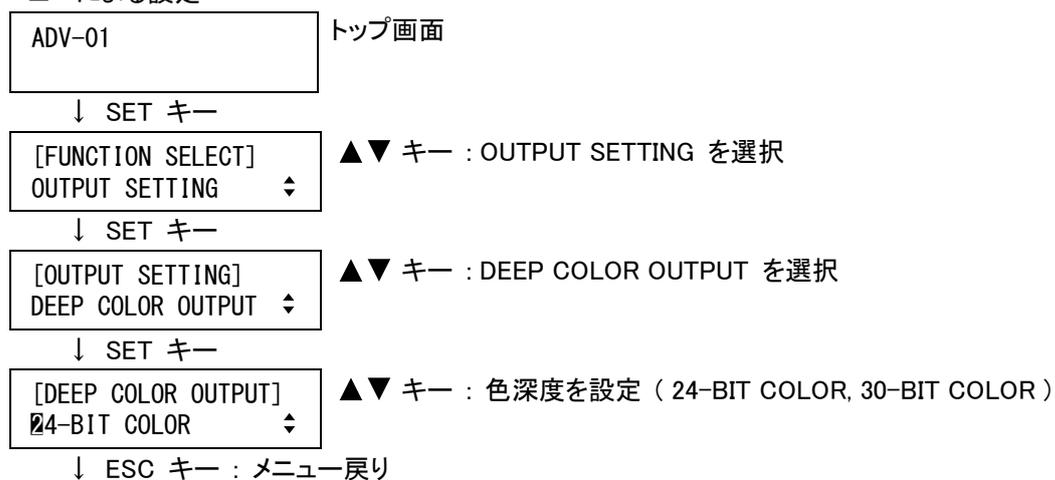
HDMI出力の色深度を選択します。「30-BIT COLOR」に設定すると、Deep Colorに対応した表示機器が接続された場合のみ「30-BIT COLOR」で出力し、Deep Colorに対応していない表示機器が接続された場合は、自動的に「24-BIT COLOR」で出力します。しかし、「30-BIT COLOR」は「24-BIT COLOR」に比べ伝送クロックが高速になるため、品質の悪いケーブルや長いケーブルを接続した場合に、映像にノイズが入ることがあります。この場合は、「24-BIT COLOR」に設定することにより症状が改善される場合があります。

{
 

- ・24-BIT COLOR (※初期値)
- ・30-BIT COLOR

 }

#### ①メニューによる設定

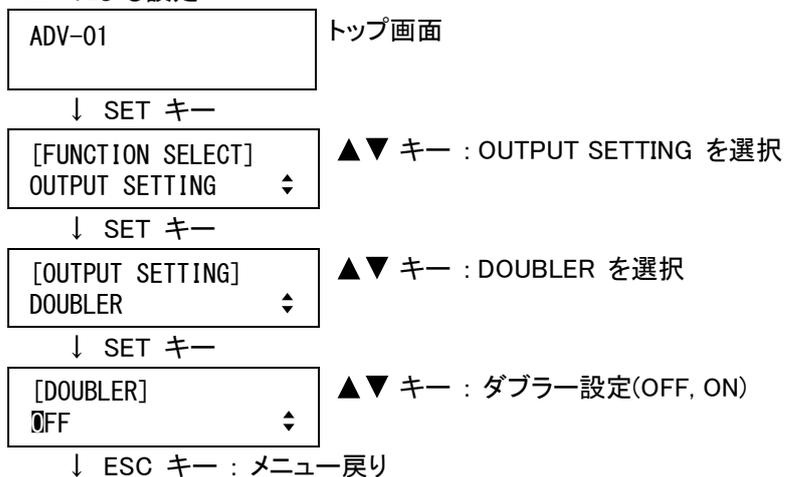


#### 4.6.4 ラインダブラー

インターレース映像信号(480i, 1080i)をプログレッシブ映像信号に変換する機能です。  
色差信号に対応していないモニターに表示する場合に使用します。

{  
・OFF (※初期値)  
・ON  
}

##### ①メニューによる設定



## 4.7 EDID

通常、パソコンと表示機器を直接、接続して電源を入れると、パソコンは表示機器の入力が可能な信号周波数の範囲などの情報を問い合わせし、そのデータを取得します(パソコンでは、この一連の動きをプラグアンドプレイといいます)。EDID設定メニューでは、パソコンからの問い合わせに対して、本機が返信する解像度を設定します。

(注1) パソコンの場合、EDIDの取得は通常電源起動時に行われるので、本機および表示機器の電源が入っている状態でパソコンの電源を入れてください。またシステムの電源を切る場合は、パソコンの電源を切ってから本機および表示機器の電源を切ってください。

EDIDの設定を変更する場合は、一旦パソコンの電源を切ってから設定を変更するか、または設定を変更した後でパソコンのプラグアンドプレイモニタの手動検出を行ってください(プラグアンドプレイモニタの手動検出は、お使いのパソコンおよびオペレーティングシステムのマニュアルをご覧ください。ただし、プラグアンドプレイモニタの手動検出を行っても、EDIDの取得を行なわないパソコンがありますので、この場合はパソコンを再起動してください)。またパソコン以外のソース機器でも、動作中にEDIDの設定を変更すると正常に本機を認識しなくなる場合がありますので、EDIDの設定は極力パソコンの電源を切った状態で行なってください。

### 4.7.1 入力解像度

パソコンから出力する解像度を設定します。

{	• SVGA(800x600)	• Quad-VGA(1280x960)	• WXGA+(1440x900)	• 1080p(1920x1080)
	• XGA(1024x768)	• SXGA(1280x1024)	• WXGA++(1600x900)	• WUXGA(1920x1200)
	• 720p(1280x720)	• WXGA(1360x768)	• UXGA(1600x1200)	• QWXGA(2048x1152)
	• WXGA(1280x768)	• WXGA(1366x768)	• WSXGA+(1680x1050)	
	• WXGA(1280x800)	• SXGA+(1400x1050)	• 1080i(1920x1080)	
	※初期値 1080p(1920x1080)			

720p, 1080i, 1080pはCEA-861規格のハイビジョン信号と同等タイミングです。その他は、VESA DMT規格またはVESA CVT規格に準拠したタイミングで、WUXGA(1920x1200)およびQWXGA(2048x1152)はReduced Blankingになります。

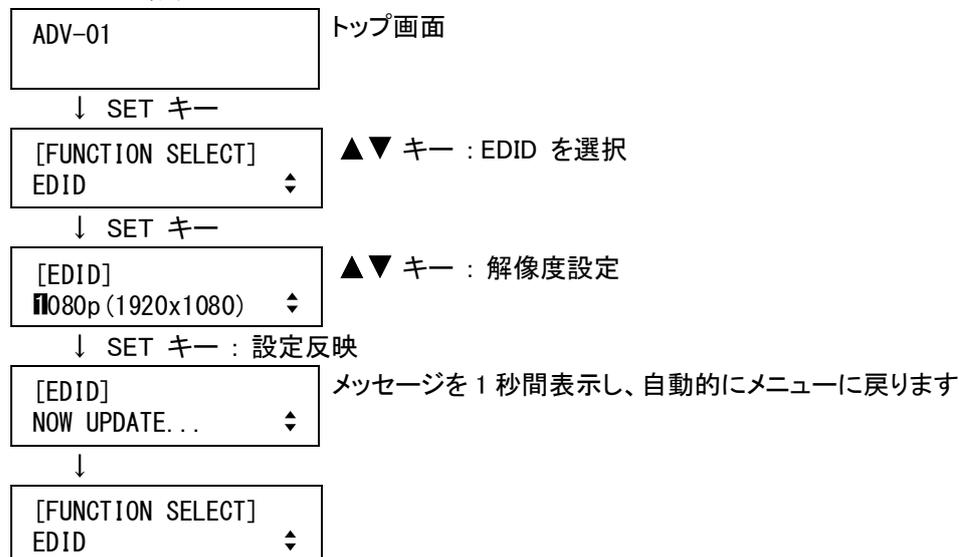
EDIDは使用可能な最大解像度で設定しますが、それ以下の解像度にも対応しています。接続するパソコンから出力する解像度に対応したものを選択してください。

対応解像度	640	800	1024	1280	1280	1280	1280	1280	1360	1366	1400	1440	1600	1600	1680	1920	1920	1920	2048
入力解像度設定	480	600	768	720	768	800	960	1024	768	768	1050	900	900	1200	1050	1080i	1080p	1200	1152
800x600	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1024x768	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1280x720[D4]	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1280x768	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1280x800	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1280x960	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1280x1024	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1360x768	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1366x768	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1400x1050	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
1440x900	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
1600x900	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
1600x1200	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
1680x1050	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
1920x1080i [D3]	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
1920x1080p [D5]	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×
1920x1200	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×
2048x1152	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○

[表 4.7.1] 対応解像度

○：対応可 ×：対応不可

## ①メニューによる設定



(注意) SET キーを押さないと入力解像度は変更されませんので必ず SET キーを押してください。

## 4.8 その他設定

### 4.8.1 電源投入時のキーロック

電源を ON にしたときのキーロックの ON/OFF を設定します。

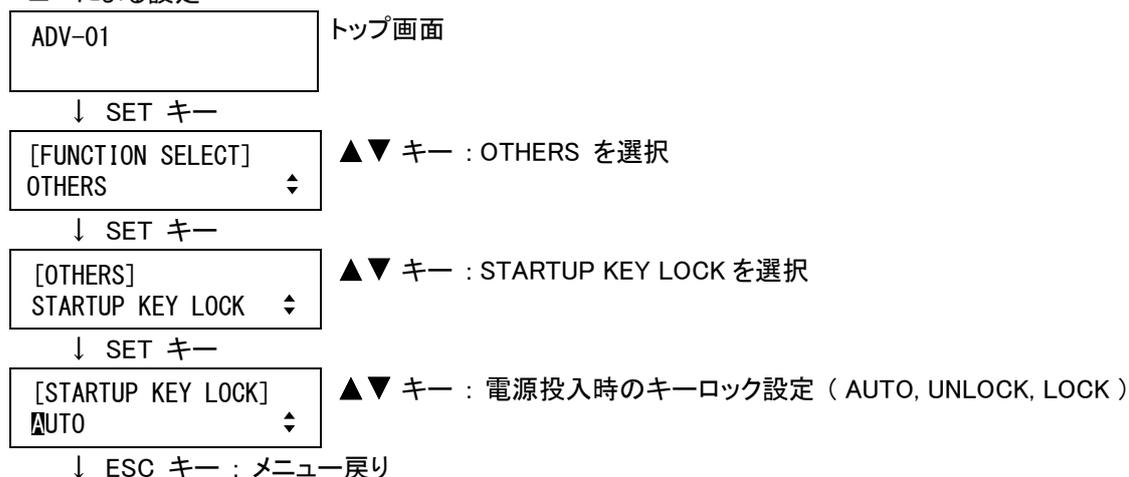
- AUTO ※初期値
- UNLOCK
- LOCK

「AUTO」に設定して電源を ON にすると、キーロック設定は前回電源を OFF にした時の状態になります。電源を ON にしたときのキーロックの状態を固定する場合は、「UNLOCK」または「LOCK」に設定してください。

[表 4.8.1] 電源 OFF→ON 時のキーロックの状態

本メニューの設定	前回電源 OFF 時のキーロックの状態	電源 OFF→ON 時のキーロックの状態
AUTO(デフォルト設定)	UNLOCK	UNLOCK
	LOCK	LOCK
UNLOCK		UNLOCK
LOCK		LOCK

#### ①メニューによる設定



※ 初期画面で▶ キーを 2 秒以上押し続けることにより、フロントキーのキーロック解除が可能です。キーロックの設定を変更し、ディスプレイに状態を 1 秒間表示します。

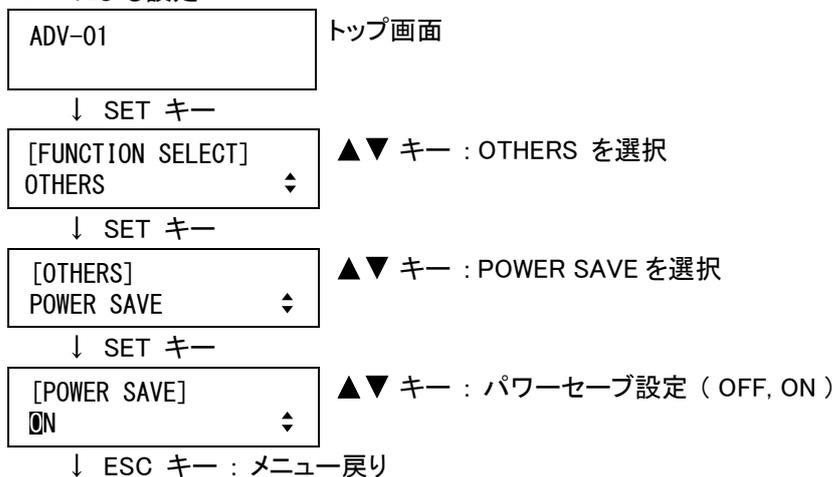


#### 4.8.2 パワーセーブ

メニュー制御キーの操作が 30 秒間なかったときに、ディスプレイの輝度を 0%に絞ることが可能です。その後、メニュー制御キーを操作すると、ディスプレイの輝度は 100%に戻ります。

- ・自動的に輝度を落とさない ( OFF )
- ・自動的に輝度を落とす ( ON ※初期値 )

##### ①メニューによる設定



### 4.8.3 トップ画面表示

トップ画面の表示を、「通常画面」、「入力信号状態表示画面」、「映像信号出力状態表示画面」から選択します。

- ・通常画面 (NORMAL ※初期値)
- ・入力信号状態表示画面 (INPUT STATUS) ・映像信号出力状態表示画面 (OUTPUT STATUS)

#### 通常画面

ADV-01

#### 入力信号状態表示画面

[FORMAT]  
1280x1024 60.00Hz R

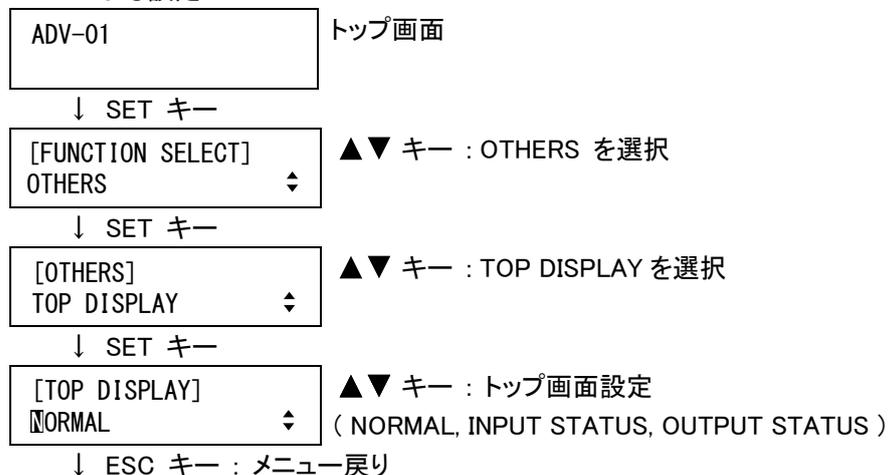
#### 映像信号出力状態表示画面

[OUT STATUS]  
HDMI 24BIT COLOR

**4.8.4 入力信号状態表示**(P.55)で、映像入力端子からの入力信号の状態の確認が可能ですが、本メニューより「入力信号状態表示画面」を選択すれば、トップ画面として常時「入力信号状態表示画面」を表示します。「入力信号状態表示画面」については、**4.8.4 入力信号状態表示**をご覧ください。

**4.8.5 映像信号出力状態表示**(P.56)で、映像信号の出力状態の確認が可能ですが、本メニューより「映像信号出力状態表示画面」を選択すれば、トップ画面として常時「映像信号出力状態表示画面」を表示します。「映像信号出力状態表示画面」については、**4.8.5 映像信号出力状態表示**をご覧ください。

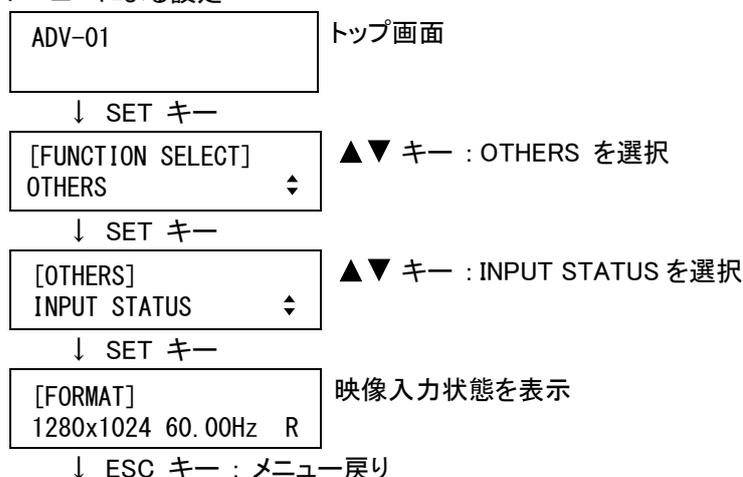
#### ①メニューによる設定



#### 4.8.4 入力信号状態表示

映像入力端子からの入力信号の状態を表示します。

##### ① メニューによる設定



入力信号の意味は以下のとおりです。

##### [入力信号の種類]

ディスプレイ右下のアルファベットは、入力信号の種類で以下のいずれかになります。

- R : アナログ RGB 信号が入力されています。
- Y : アナログ YPbPr 信号が入力されています。
- V : アナログコンポジットビデオ信号が入力されています。
- : 何も表示されない場合は、信号が入力されていません。

各入力端子毎の映像入力状態の意味は以下のとおりです。

##### [映像入力信号のフォーマット]

- 1080i 59.94Hz : SDTV 信号が入力されており、フォーマットの種別と垂直同期周波数を表示します。
- 800 x 600 60.00Hz : RGB 信号が入力されており、水平解像度×垂直解像度と垂直同期周波数を表示します。
- NTSC : アナログコンポジットビデオ信号が入力されています。
- 56.83kHz 60.02Hz : 本機が判別できない信号が入力されており、水平同期周波数と垂直同期周波数を表示します。**4.5 入力タイミング設定**(P.25)で入力タイミングの調整を行ない、**4.5.14 機種データの登録**(P.42)で登録すれば、本機が判別できるようになります。
- NO SIGNAL : 映像信号が入力されていません。

##### [対応範囲外の映像信号が入力された場合]

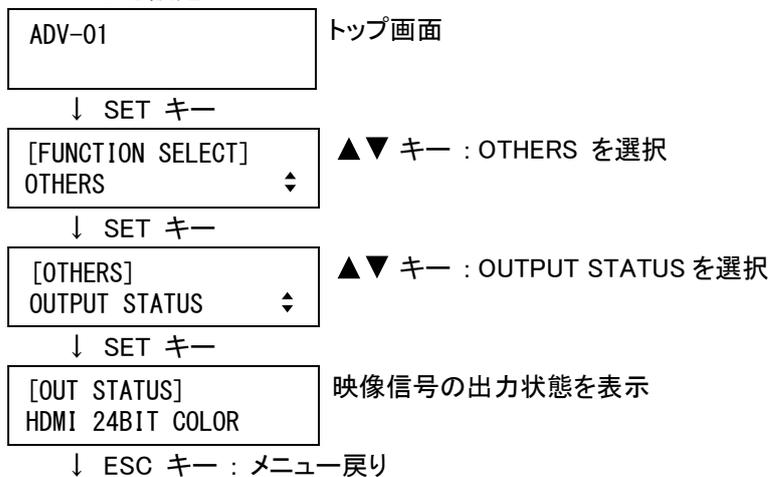
サンプリングクロックが162MHzを超える信号が入力されると、下段の入力信号種別の左に「E」を表示し映像を出力しません。

```
[FORMAT]
1920x1440 60.00HzED
```

#### 4.8.5 映像信号出力状態表示

映像信号の出力状態を表示します。

##### ① ニューによる設定



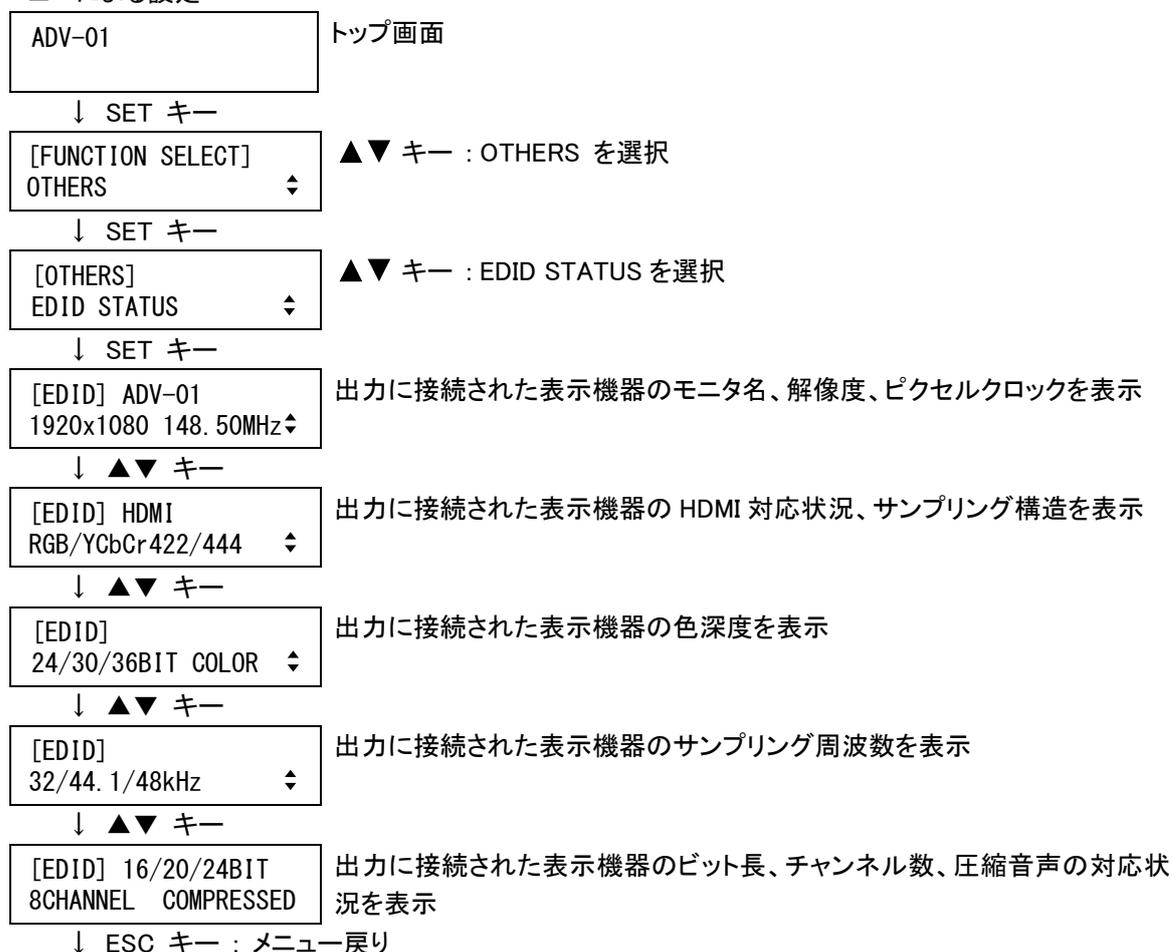
表示機器が接続されている場合は、ディスプレイの下段に出力信号の種類と、HDMI で出力している場合のみ色深度を表示します。

HDMI 24BIT COLOR	:	24-BIT COLOR の HDMI 信号を出力しています。
HDMI 30BIT COLOR	:	30-BIT COLOR の HDMI 信号を出力しています。
DVI	:	DVI 信号を出力しています。

## 4.8.6 表示機器の EDID 情報表示

映像出力端子に接続されている表示機器から読み取った EDID の情報を表示します。

## ①メニューによる設定



EDID の情報は最大 5 ページに分けて表示します。

1 ページ目には上段にモニタ名、下段左側に解像度、下段右側にピクセルクロックを表示します。また表示機器が接続されていない場合は「UNCONNECTED」、EDID が読み出せない場合は「EDID READ ERROR」と表示し、2 ページ目以降は表示されません。

```
[EDID] ADV-01
1920x1080 148.50MHz
```

HDMI に対応していない表示機器の場合、2 ページ目下段に「DVI」と表示し 3 ページ目以降は表示されません。

```
[EDID]
DVI
```

HDMI に対応している表示機器の場合、2 ページ目上段に「HDMI」と表示し、下段に対応しているサンプリング構造を表示します。RGB 信号にのみ対応している場合は「RGB」と表示し、色差信号にも対応している場合は続けて「YCbCr444」や「YCbCr422/444」と表示します。

```
[EDID] HDMI
RGB/YCbCr422/444
```

3 ページ目には対応している色深度を表示します。Deep Color に対応していない場合は「24BIT COLOR」と表示し、Deep Color に対応している場合は対応している色深度を「24/30BIT COLOR」や「24/30/36BIT COLOR」と表示します。

```
[EDID]
24/30BIT COLOR
```

4 ページ目には対応している音声のサンプリング周波数を表示します。

```
[EDID]
32/44.1/48kHz
```

5 ページ目の上段には対応している音声のビット長を「16BIT」や「16/20/24BIT」と表示します。下段左側には対応している音声のチャンネル数を「2CHANNEL」や「8CHANNEL」と表示します。また圧縮音声に対応していれば下段右側に「COMPRESSED」と表示します。

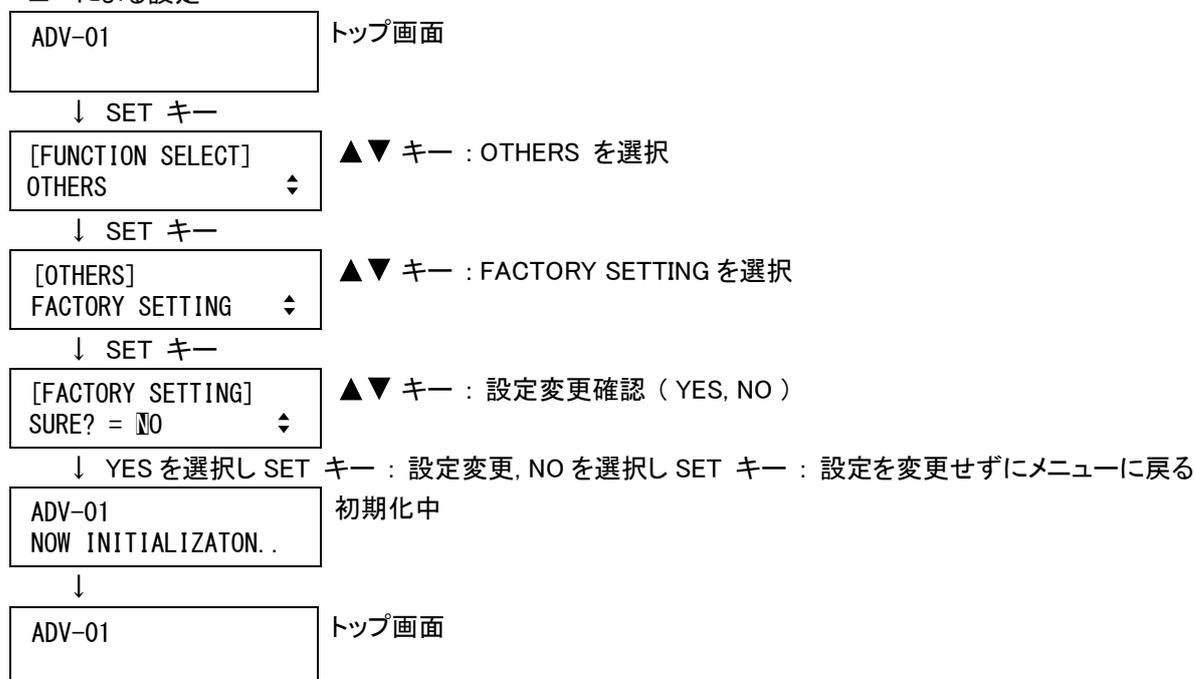
```
[EDID] 16/20/24BIT
8CHANNEL COMPRESSED
```

#### 4.8.7 工場出荷時設定

4 各種設定(P.13)の状態を工場初期値に戻すことが可能です。NOW INITIALIZATION.の表示が消えると初期化が終了し、通常の動作を開始します。

※ 一度工場初期値にすると、それまで使用していた設定に戻すことはできませんのでご注意ください。

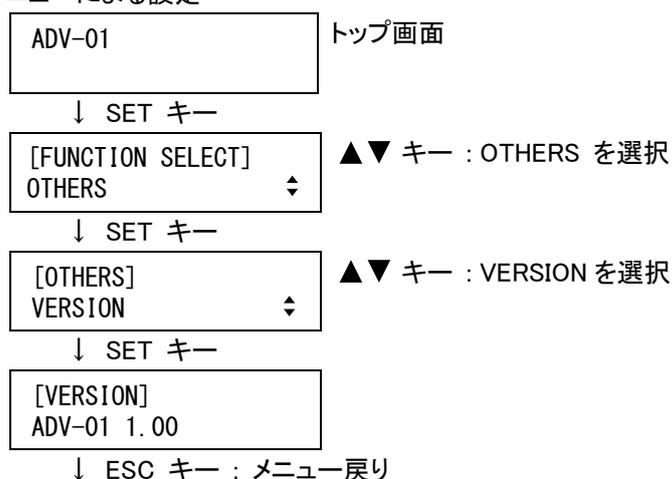
##### ①メニューによる設定



#### 4.8.8 バージョン情報表示

本機のファームウェアのバージョンを表示します。

##### ①メニューによる設定



## 5 ASCII コード表

[表 5.1a] ASCII コード表(1/2)

文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進
NUL	00	SP	20	@	40	`	60
SOH	01	!	21	A	41	a	61
STX	02	"	22	B	42	b	62
ETX	03	#	23	C	43	c	63
EOT	04	\$	24	D	44	d	64
ENQ	05	%	25	E	45	e	65
ACK	06	&	26	F	46	f	66
BEL	07	'	27	G	47	g	67
BS	08	(	28	H	48	h	68
HT	09	)	29	I	49	i	69
LF	0A	*	2A	J	4A	j	6A
VT	0B	+	2B	K	4B	k	6B
FF	0C	,	2C	L	4C	l	6C
CR	0D	-	2D	M	4D	m	6D
SO	0E	.	2E	N	4E	n	6E
SI	0F	/	2F	O	4F	o	6F
DLE	10	0	30	P	50	p	70
DC1	11	1	31	Q	51	q	71
DC2	12	2	32	R	52	r	72
DC3	13	3	33	S	53	s	73
DC4	14	4	34	T	54	t	74
NAK	15	5	35	U	55	u	75
SYN	16	6	36	V	56	v	76
ETB	17	7	37	W	57	w	77
CAN	18	8	38	X	58	x	78
EM	19	9	39	Y	59	y	79
SUB	1A	:	3A	Z	5A	z	7A
ESC	1B	;	3B	[	5B	{	7B
FS	1C	<	3C	¥	5C		7C
GS	1D	=	3D	]	5D	}	7D
RS	1E	>	3E	^	5E	~	7E
US	1F	?	3F	_	5F	DEL	7F

[表 5.1b] ASCII コード表(2/2)

文字	16 進	コントロールコード詳細
<i>NUL</i>	00	NULI(ヌル)
<i>SOH</i>	01	Start Of Heading(ヘッダ開始)
<i>STX</i>	02	Start of TeXt(テキスト開始)
<i>ETX</i>	03	End of TeXt(テキスト終了)
<i>EOT</i>	04	End Of Transmission(転送終了)
<i>ENQ</i>	05	ENQuiry(問合せ)
<i>ACK</i>	06	ACKnowledge(肯定応答)
<i>BEL</i>	07	BELI(ベル)
<i>BS</i>	08	Back Space(後退)
<i>HT</i>	09	Horizontal Tabulation(水平タブ)
<i>LF</i>	0A	Line Feed(改行)
<i>VT</i>	0B	Vertical Tabulation(垂直タブ)
<i>FF</i>	0C	Form Feed(改ページ)
<i>CR</i>	0D	Carriage Return(復帰)
<i>SO</i>	0E	Shift Out(シフトアウト)
<i>SI</i>	0F	Shift In(シフトイン)
<i>DLE</i>	10	Data Link Escape(伝送制御拡張)
<i>DC1</i>	11	Device Control 1(装置制御 1)
<i>DC2</i>	12	Device Control 2(装置制御 2)
<i>DC3</i>	13	Device Control 3(装置制御 3)
<i>DC4</i>	14	Device Control 4(装置制御 4)
<i>NAK</i>	15	Negative AcKnowledge(否定応答)
<i>SYN</i>	16	SYNchronous idle(同期信号)
<i>ETB</i>	17	End of Transmission Block(転送ブロック終了)
<i>CAN</i>	18	CANcel(取消)
<i>EM</i>	19	End of Medium(媒体終端)
<i>SUB</i>	1A	SUBstitute(置換)
<i>ESC</i>	1B	ESCape(拡張)
<i>FS</i>	1C	File Separator(ファイル分離)
<i>GS</i>	1D	Group Separator(グループ分離)
<i>RS</i>	1E	Record Separator(レコード分離)
<i>US</i>	1F	Unit Separator(ユニット分離)
<i>SP</i>	20	SPace(空白)
<i>DEL</i>	7F	DELete(削除)

## 6 製品仕様

外観と仕様は予告なく変更することがあります

ADV-01		
入力信号		
映像	コンポーネント	1 系統 コンポジットビデオ/アナログ RGB/アナログ YPbPr を自動認識 コンポジットビデオ: 1.0 V[p-p]/75 Ω アナログ RGB: 0.7 V[p-p] (Sync on Green 時 1.0 V[p-p])/75 Ω HS/VS TTL レベル、Sync on Green アナログ YPbPr: 1.0 V[p-p](Y)/0.7 V[p-p](Pb・Pr)/75 Ω EDID エミュレート機能搭載 コネクタ: 高密度 D-sub15 ピン・メス
	対応フォーマット	NTSC/PAL VESA: ドットクロック 25 MHz~162 MHz (VGA~QWXGA) ※WUXGA/QWXGA は Reduced Blanking のみ対応しています。 SDTV/HDTV: 480i/480p/576i/576p/720p/1080i/1080p
	コンポジット	1 系統 コンポジットビデオ: 1.0 V[p-p]/75 Ω コネクタ: BNC
	対応フォーマット	NTSC/PAL
音声	アナログオーディオ	1 系統 ステレオ L/R アンバランス信号 入力インピーダンス: 24 kΩ 基準レベル: -10 dBu 最大入力レベル: +10 dBu コネクタ: RCA ピンジャック
出力信号		
映像	HDMI/DVI	1 系統 HDMI: TMDS シングルリンク (注 1) DVI: DVI 1.0 シングルリンク 色深度: 24bit、30bit Deep Color ケーブル補償機能搭載 コネクタ: DVI-I (29 ピン)・メス ※アナログ信号は使用できません。
音声	デジタルオーディオ	1 系統 2 チャンネルリニア PCM サンプリング周波数: 48 kHz、量子化ビット数: 24 bit 基準レベル: -20 dBFS 最大出力レベル: 0 dBFS コネクタ: DVI-I (29 ピン)・メス ※入力のアナログオーディオ L/R をエンベデッド出力
ケーブル最大延長距離		
デジタル出力部		最大 10 m ~ 50 m (注 2)
機能		
映像	3 次元 Y/C 分離、Deep Color 出力、簡易ダブラー (480i、1080i) 出力、 画像調整機能 (ブライトネス、コントラストなど)	
音声	アナログオーディオをエンベデッド出力	
その他	キーロック機能、ラストメモリ	

ADV-01	
その他仕様	
AC アダプタ	入力 : AC ~ 100 V - 240 V ±10% 50 Hz/60 Hz ±3 Hz 出力 : DC 5 V 2 A 10.0 W (専用 AC アダプタ付属)
消費電力	約 7 W
外形寸法	210(W) × 44(H) × 200(D) mm (EIA ハーフラック 1U、突起物含まず)
質量	1.3 kg
温度	使用範囲 : 0 °C ~ +40 °C                      保存範囲 : -20 °C ~ +80 °C
湿度	使用範囲 : 20 % ~ 90% (ただし結露なきこと)   保存範囲 : 20 % ~ 90% (ただし結露なきこと)
付属品	ネジ式ロック付き AC アダプタ (1.5 m)

(注 1) x.v.Color, CEC, HEC, 3D, ARC には対応していません。

(注 2) 接続される出力機器により延長距離が異なります。上記に記載されたデータは IDK 製ケーブル(AWG 24)を使用し 1080p@60 24bit/pixel(8bit/component)の信号を出力した場合の最大延長距離です。なお、出力機器の組み合わせおよび、他社製のケーブルを使用した場合は、記載された距離の範囲内でも、映像が乱れたり、映像が出力されなくなる場合があります。

※ 付属の AC アダプタは本機専用品です。他の機器にはご使用にならないでください。

## 7 正常に動作しないときは

本機がうまく動作しない時などは、以下の点をご確認の上、弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。

- ・本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・機器に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・表示装置（モニタなど）は正しく設定されていますか？
- ・機器の近くにノイズの原因となるようなものはありませんか？



## ADV-01 取扱説明書

Ver.3.3.0

発行日 2023年03月10日



### 株式会社 アイ・ディ・ケイ

**本 社** 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1  
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765

**関西営業所** 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-5 大同生命江坂第2ビル 5階  
TEL (06) 6192-0764 FAX (06) 6192-0906

**九州営業所** 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-9-2 八百治センタービル 3階  
TEL (092) 431-0764 FAX (092) 431-0906

**E メールアドレス** [info@idk.co.jp](mailto:info@idk.co.jp) **ホームページ** [www.idk.co.jp](http://www.idk.co.jp)